

## 亀田五三二氏の父島軍隊日誌

原文日誌は八潮市・亀田勲氏よりお借りしました  
Bonin Explorer MULBERRY 吉井信秋

### <昭和 16 年>

#### 昭和 16 年 9 月

- 18 日：午前 8 時、赤羽近く**東部十四部隊**へ入隊。同日、**入柳部隊第三小隊三分隊**へ編入。
- 20 日：動員完結。午後 5 時、屯営出発。自動車にて、**芝浦より乗船**。(同時に歩兵乗船)
- 21 日：横浜にて、砲兵乗船。午後 6 時、**横浜出発**。(みどり丸)
- 24 日：午後 8 時、**小笠原群島父島二見港**に着。
- 26 日：午前 7 時、**下船**。船中の混雑、言語に絶す。初めての常夏の風物に接す。珍しい物ばかり。  
**司令官(川上大佐)の訓示**あり。行軍にて、約 2 時ばかり山に入り、**臨時宿舎**につく。時に 26 午後 3 時、すぐに武装を解く。(袋沢四人小屋)
- 27 日：昨日の行軍が大分疲れたので、昨夜はとともよく寝られた。山の朝はほんとに気分良いものだ。谷川に 10 日間の汗を流す。日中はまたものすごい暑さなり。風の涼しさに、苦しさを幾分救われる。
- 28 日：父島に来て、初めての日曜。準備中のこととて、相変わらず用なし。お天気良く、暑さ厳しい。午後、**小港まで**、使役に行く。今日、時計の硝子を入れた。
- 29 日：入隊以来、初めて作業に出た。**午前 4 時起床**。**大村まで船**で行く。道路構築で大分骨が折れた。帰りはちと遅くなった。久しぶりの事とて、ずいぶん疲れた。**不寝番 4 番**に立つ。
- 30 日：久しぶりに作業に出たので、ずいぶん疲れた。午前 10 時、注射した。午後は休養。小港まで使役に行く。腕がととも痛む。熱が出た。

#### 昭和 16 年 10 月

- 1 日：内地なれば、朝晩ちと寒いが、ここ常夏の国・小笠原ではまだ内地の真夏だ。今日は**宿舎の移動**だ。午前中に**大村**に来た。宿舎は三日月山のすぐ下で、**参考館(産物陳列館)**であった。午後は宿舎の準備をした。久しぶりに家らしい家に落ち着く。
- 2 日：いよいよ今日から本格的な道路構築作業を始めた。午前 7 時集合。山の中腹まで行く。暑さのためはかなり骨の折れる作業であった。
- 3 日：今日から**隣浜**の海際で、大工仕事をするべく木工 8 名が出て準備。**砲兵兵舎**をやることとなったのだ。風通し良く、気分良し。
- 4 日：今日もまた隣浜の気分の良いところで、一日中木工仕事。朝から土台の墨付け。夕方、柱の墨付けを始めた。夕食後、**部隊長殿の御注意**あり。手紙を書いて寝た。
- 5 日：晴天。暑気厳しく、作業に労苦多し。海岸ぶちで大工仕事。中々仕事が先へ進まない。夕食前に地方の家(中村氏方)に入浴。気分すこぶる良し。
- 6 日：晴天。相変わらず暑さ厳しい。今日は久しぶりに山に仕事に行く。杭打ちに汗を流す。午後、建物の位置に変更あり。とうとう夕方まで、遊びになった。
- 7 日：晴天。今日もまた山へ仕事に行く。地形の変更になった所のやり直しに大分骨が折れた。午後は入浴場の地ならしをやる。夕食後、洗濯をした。陽気に慣れたのか、近頃は幾分楽になったような気がする。**不寝番 5 番**に立つ。
- 8 日：晴れ。島に着て早くも 10 日以上は経ったが、雨らしい雨は一度も降らない。雨の少ない所らしい？。暑さは相変わらず厳しい。今日は**海辺(隣浜)**へ行って大工仕事をやった。山の仕事よりは幾分楽である。
- 9 日：今日もまた隣浜の海辺へ大工仕事に行く。相変わらずの晴天で、ずいぶん暑かった。仕事も大分出来上がった。夕食後、入浴して汗を流す。昨夜、かなりの夕立雨が降った。
- 10 日：晴天。一昨日、二見港に入った**連絡船・芝園丸**も、昨夜 10 時に発ったとのこと。**分隊の金沢君も、病のために内地に帰る**。今日も一日中、海岸で仕事。今日、久しぶりに煙草が手に入った。今日は注射で、午後 2 時作業をやめて帰る。夕食後は早く寝る。
- 11 日：注射のため、午前中休養。腕が痛む。熱が出る。大分まいった。午後は海辺で大工仕事。体が大きく、仕事が思うようではない。夕食後は早く寝た。

- 12日：注射の後の体の具合もいくらか良いので、また作業に出た。腕も頭も大分具合が良く、ずいぶん張り切って仕事をしたが、午後、腹具合がおかしくなりだして、大分苦しかった。夕食はかゆ食をやった。薬を飲んで寝た。
- 13日：腹の具合が治らず、とうとう作業にも出られず、一日休養した。大した薬も飲まないで、中々治らない。
- 14日：体はだるいが、腹の具合が大分良いので、今日は作業に出た。木工作业は海辺で気分が良いので、ほんとに助かる。今日は珍しく魚釣りをやってみた。大きなボラが釣れて、ほんとに気持ちが良かった。夕食後、中村氏方へ入浴へ行く。そのあと、手紙を書く。
- 15日：昨日、魚釣りをやったので、面白くなって、今朝は早起きをして釣りに行く。大したことはなかった。海岸の仕事もやっと今日で終わる。夕方、片付けて帰る。夕食前に、洗濯をした。夕食後、また入浴。気分よし。
- 16日：今日から山へ仕事に行くはずであったが、**舎内当番**で宿舎に残る。**松沢君が日直**。午後、海へ釣りに行く。骨休めのこととて、大分楽であった。
- 17日：久しぶりに**三日月山の砲兵兵舎**の仕事。一日中、大工仕事。かなり忙しくやった。夕方、屋根を作って仕舞って帰る。夕食後、入浴に行く。(事務室)
- 18日：召集を受けて、丸1ヶ月。ずいぶん長い1ヶ月であった。今日は**靖国神社の大祭**で一日休養。午後は小隊長の引率で、海へ釣りに行く。ずいぶんつまらない休日であった。
- 19日：一日の休養で、いくらか体も休んだような気がする。今日はまた三日月山へ作業。大分作業もはかどった。
- 20日：毎日毎日、山への作業は上り下りが中々楽ではない。慣れたとはいえ、かなり体にこたえる。夕食後、洗濯をした。
- 21日：10月も、早くも下旬季に入る。来た時よりはずいぶん涼しくなったが、それでもここはずいぶん暑い。長い暑さで、体が大分弱ったような気がする。
- 22日：午前中、**砲兵の実際射撃**で、山へ行かれず、海のところから材料運搬をした。午後は時々小雨あり。山へ上って作業をした。夕食後、初めて俸給をいただく。あと入浴する。
- 23日：大分涼しくなったので、山へ行くのも楽になった。山の作業も大変に出来てきて、今3日ばかりで出来上がるらしい。今日、**飯塚氏と家から手紙**が来た。
- 24日：風があって、今日もわりあい涼しい日であった。今日もまた山へ行く。一日中、炊事の榭や何かをやった。夕食の時、久しぶりにうまい**ビールを飲んだ**。
- 25日：今日もまた山へ仕事。仕事は楽なのだが、どうゆうものか、体がとても疲れる。山の作業もあと1日というところだ。夕食の時、珍しく**ビールを飲む**。
- 26日：長かった山の作業も、今日で終わる。帰りに道具を持って帰って来た。夕食後、入浴。**娯楽会**があった。
- 27日：山の作業も終わったので、木工の者は、今日からまた海辺で水槽の作業を始める。午前中は、材料運搬と作業準備をして、午後から作業をした。午後2時半、次期作業の関係より、作業中止となる。夕食後、入浴、汗を流す。不寝番8番。
- 28日：作業の都合で、**三小隊**は本日休養。お天気悪く、時々小雨があった。俺は日直で、遊びに出られず、ちと辛かった。無事に申送って、床につく。
- 29日：今日はまた海岸で作業へ行く。水槽の作業をまたやった。今日は一日中板削り。ちと骨が折れた。幾分荒れ気味のお天気で、時々小雨があった。本日は**食当番**。
- 30日：水槽作りのために今日もまた海辺へ行く。一日中削りもので、大分疲れた。荒れ気味のお天気は中々直らず、一日中時々小雨。
- 31日：昨夜も相当な雨が降ったが、今朝もなおやまず、時々には相当な雨が降っていた。作業が出来ないのも覚悟で、海辺に行く。一日中、とうとう降っていて、いくらも出来ず帰る。夕食後、**お祭りを見に行く**。

## 昭和16年11月

- 1日：いよいよ11月に入る。早いものだ。近日中にわが分隊は、兄島に出張することとなったので、今日はその準備作業をした。
- 2日：兄島に移動することは急に取りやめとなったので、今日は分隊は休み。次の作業地・扇浦の作業地区視察のために、石川班長以下5名、朝6時出発。一日中歩き通しで、ずいぶん疲れた。夕食後、早く寝た。
- 3日：今日は明治の佳節。お天気はどうやら直ったらしく、良いお天気。午前9時、遙拝式があり、それからは休み。一小隊の兵隊と、斎藤君と4人で釣りに行く。労多くして、功少しで、駄目。
- 4日：一昨日の偵察でまだ不完全であったので、今朝は早起床で、この間の兵隊で、また出かけた。行軍が続いたので、ずいぶん疲れた。大村のお祭りを見に行く。
- 5日：大村に宿営して、丸1ヶ月と4日。大分慣れてきた。大村をあとに、今日は扇浦に移転をした。午前8時半、部隊長殿に申告。船にて扇浦に、学校の付近に宿営した。(天幕)
- 6日：今日より、扇浦にて道路作業を始めた。古い道路の補修にかかる。宿営地のそばの事とて、今日は幾分楽であった。夕方、海に入る。11月も夕方になって海に入っても、寒くないのにはいささか驚いた。
- 7日：昨夜より腹痛しきりなり、冷えたか、食合わせか？ために今日は作業にも出られず、一日中幕舎の内で寝たきり。夕食だけ食べて、大事をとる。
- 8日：大分良くはなったが、まだまだいけないので、今日もまた作業は休み。薄ぼんやりとしたお天気で、蒸し暑い。終日寝たり起きたり。船の都合か、ここしばらくの間、便りが来ない。ちと淋しいものだ。
- 9日：ようやく元気になったので、今日からまた山へ作業に出た。ずいぶん骨が折れた。
- 10日：一日一日と作業するところが遠くへ延びて行く。段々と往復が大変になる。一日の作業を終えて帰ったら、明日は休みとの命令あり。
- 11日：今日は久しぶりの休日であったが、一日中荒れ気味の風に、小雨さえ加わって、ほんとに嫌な日であった。午後は斎藤君と釣りに行ったが、駄目だった。
- 12日：命令によると、本日より本戦備に入ったとのことだ。山へ道路作業に行った。今日は歩兵が50名ほど来た。
- 13日：今日もまた山へ道路作業に行く。一日中大分良いお天気で、日中はかなり暑かったが、さすがに陽気は争えないものだ。夕方は大分涼しくなった。夕食後、入浴のために、民家に行く。良く晴れていたが、ずいぶん\*\*であった。
- 14日：風強く、お天気わるし。かなり暑かった。お天気なれども、午後はとうとう雨になる。熱帯地方特有の雨とて、一時はずいぶん強い降りであった。夕食。洗濯。すっかり曇った空模様だ。明日のお天気は？
- 15日：気にしていたお天気も、大した事はなく、良いお天気となった。一日中、山で道路作業をした。お昼のとき、皆でエビ捕りをやった。夕食後、移動の準備をして寝た。
- 16日：ようやく自分等の兵舎に入ることが出来た。入営以来約2ヶ月ぶりだ。午後3時まで、移動完了。種々の準備にずいぶん疲れた。
- 17日：新兵舎になれぬ一夜を明かした。曇天を気にしつつ、また山へ作業に行く。作業も段々と出来上がり、往復がずいぶん骨の折れるようになった。午後1時、スコールがあり、それから、お天気が悪くなったので、作業をやめて帰る。夕方までに、本部の移動の使役に出た。大分疲れて、夕食後、入浴。
- 18日：今日は本部へ木工としての使役に行く。本部の机作り。二分隊の鈴木君と2人でやった。一生懸命にやったので、大分出来たが、ずいぶん疲れた。
- 19日：今日もまた本部へ木工使役。皆さんは山へ作業に行く。一日中、鈴木君と2人でやった。雨が降ってきたので、作業早仕舞いにした。今夕はずいぶん久しぶりに便りがたくさん来た。ほんとに嬉しいものだ。夕食後も、また雨が降っていたが、返事を書いた。(時計を壊して直しに出す。)
- 20日：一日を本部木工使役に終わる。夕方になって、ずいぶん忙しい思いをした。今日は渡部君が手伝いに来た。今日珍しくとも、金庭君より、金5円也送ってきてくれた。友達はほんとに有難いものだ。

- 21日：本部の使役も終わったので、今日からまた山へ道路作業に出た。3日ばかり休んでいる間に、ずいぶん道路も出来た。かなり疲れて帰る。夕食後、入浴。
- 22日：毎日毎日、勤務や使役人員のために作業に出る。人員が少ないので、道路作業も中々大変だ。今日は全線あらまし通じた。今朝あまり早く起きたので、今晚はずいぶん眠たかった。
- 23日：今日は作業は中止して、**内務検査**に立ち会った。午前9時、**小隊長の下検査**あり。10時より、**隊長の検査**があった。午後は休養。**斎藤君**と**小港へ釣り**に行った。
- 24日：朝から好天気。常夏の国にて、秋が来たのか、ずいぶん涼しくなった。今日は本部使役で、箱作りを舎内でやった。
- 25日：今日はまた山へ道路作業に出た。**扇浦**に通ずる道路は、午前中をもって終わる。午後、**夜明山**に通ずる道路にかかった。半分くらいは**歩兵**がやってくれたので、大変に助かった。今日は歩兵は移動で休みだった。
- 26日：今日も山へ道路作業に出た。往復の道のりが大分あるので、ほんとに体が疲れる。道路も大分出来た。今日は歩兵が出たので、特に目立った出来た。
- 27日：長いこと待った**芝園丸**が、**今朝入港**した。今日もまた山へ道路作業。疲れて体が痛い、一日を終わった。なんだか腹の具合が悪いので困った。
- 28日：とうとう腹をいためた。初めて診断を受けて、**連兵休**となり、**かゆ食**となった。一日中、ほんとに具合が悪いので、床の中にいた。夕方、嬉しい便りが来た。
- 29日：今日もまた休み。お天気も大変に良く、良い陽気になった。分隊の諸君は、相変わらず山へ道路作業をやった。お腹の具合は、中々治らない。
- 30日：今日は日曜で、本来ならば休みの筈なのだが、作業の都合上、休めないとの事。俺は相変わらず休みだった。

## 昭和 16年 12月

- 1日：ようやく12月に入る。内地は相当に寒いことだろう。この常夏の国では、少しも寒さは感じない。相変わらず腹で休み。薬がないので、中々治らない。ほんとに嫌になる。
- 2日：久しぶりに今日は休養で、午前8時半より**内務検査**に、**銃剣の検査**があった。お天気は朝のうちに、ちょっと夕立気味の雨があったが、まもなくお天気になった。外出はなく、**内務休養**だった。夕食後、柄津に40円貸した。ほんとに嫌になる。
- 3日：朝よりお天気悪く、時々小雨があり、嫌なお天気であった。相変わらず腹で休み。大分良くなったので、明日あたりは出られそうだ。
- 4日：昨夜大雨があつて、今日は朝より好天気になる。作業に出られると思った体も、また腹の具合が悪くなり、また休む。涼しい秋風が身にしむ頃となった。**内地帰還のデマ**がしきりに飛ぶ。晩、柄津より金を返してもらった。
- 5日：朝からどんよりした涼しいお天気。今にも雨になるかと思われる空模様。分隊は砂利運搬に行った。俺は相変わらず、腹のために休み。まだ腹具合はよくなるらない。
- 6日：お天気は割合に良く、日中はかなり暑かった。今日もまた腹で休み。午後、使役で**大村**に行く。今日、ようやく就業になった。
- 7日：今日は日曜日で、休養。午前、**武器被服の手入れ**。10時頃より降り出した雨は、大した事はなかったが、一日中とうとう降っていた。7時の会報の時、**日米戦が始まった**とのニュースあり。**実砲を渡された**。とうとう来るべきものが来たのだ。
- 8日：相変わらず朝から曇天。そして腹具合が悪い。久しぶりに作業に出た。**扇浦**より**連珠谷**に砂運搬。いくらもやらないが、ずいぶん疲れた。夕食後、便りが渡る。今朝早く、**芝園丸**が入港した。今朝11時、**英・米両国**に対し、**宣戦布告**をした。
- 9日：朝まだ明けきらぬ頃(午前5時半)、**敵機襲来**のサイレンあり。武装して出たが、すぐに解除になった。ニュースによると、**日米戦も、わが軍多大の戦果を上げた**との事。作業は砂運搬。人員5名。
- 10日：腹具合がいまだに悪いので、どうも作業が骨が折れて仕方がない。午前7時、**日米戦戦勝祈願祭**が行われた。そのあと、**対空射撃演習**があった。今日は作業がなく、扇浦より米の運搬。大分疲れてしまった。日米戦、その後の戦果は、益々上がる。

- 11日：2、3日来、もよおしていたお天気は、とうとう今日は雨を降らせ始めた。入隊以来、初めての**衛兵**につく。終日、雨が降っていた。分隊は休養であった。夜に入って、風も出て、ものすごい雨となる。良いあんばいに空襲もなく、夜も次第に更けて行く。
- 12日：雨の一夜も無事に明けて、曇りながらも、どうやらお天気になったらしい。無事に衛兵を明けて帰る。午前、休養。午後、大村に使役に行く。
- 13日：今日は朝より好天気。気持ちのよい、秋晴れの陽気だ。12月に入って内地の秋とは、さすがに常夏の国だ。一日中、砂運搬をした。夕食後、**冬襦袢**が1組渡った。**日米戦を、大東亜戦争**と言うこととなった。夜に入り、**二分隊**では、何か騒いでいたようだった。
- 14日：第2日曜で、今日は休養。朝のうち、全舎内の掃除をして休む。お天気良く、気持ちのよい陽気に、一日を気楽に休む。**大東亜戦争の捷報**しきりなり。皇軍の武威、世界に輝く威なるかな、わが皇軍。
- 15日：内地の初秋にも似た陽気なれど、白雲天を覆い、雲間も日はかなり強い。今日もまた好天気なり。敵襲に備えて、待機の姿勢なり。午前、営庭の地ならし。午後も若干やってやめにした。**昨晚より、憧れの電燈**がつく。本日、**衛兵・石川伍長**なり。
- 16日：中2日おいて、今日はまた砂運搬の作業に出た。朝のうちはお天気が悪かったが、のちにはとても好天気になった。午後は**必戦勝祈願旗行列**が、**島民によって行われた**。今日はずいぶん疲れた。入浴はあまり混雑するので、やめにした。
- 17日：本日、わが分隊は待機分隊で、**内務班**に残る。舎内外の掃除をした。仕事もなく、一日終わる。今朝より、**日朝点呼**が**30分早く、5時30分**となった。大東亜戦争も、いよいよ戦果を上げている。
- 18日：入隊以来早くも満3ヶ月になる。過ぎたことを思えば、ずいぶん早いような気がする。今日は**基本射撃に、洲崎飛行場**に行く。お昼を食べずに帰ってきたのが午後1時半。軍隊流では13時半か。帰って銃の掃除をして、あとは休みにになった。良く晴れた夜空には、きれいな星がいっぱい出た。
- 19日：いまだほの暗い5時半、起床、点呼、食事と、毎日毎日規則正しくやっている。今日は我が分隊は、待機分隊で、作業は休みだった。お昼時、夕立雨があって、今まで良かったお天気が悪くなる。新聞もラジオもないここでは、大東亜戦争のニュースもあまり聞かない。細雨がとうとう夕方まで降って、ほの暗い兵舎の内で、雑談に過ごす。
- 20日：昭和16年も、余す所、十余日となった。現役を出て十数年ぶりに、軍隊でお正月をするらしい？今日は作業には出ずに、**本部の糧秣運搬**に出たが、船の具合が悪く、とうとう一日中待ちぼうけに終わる。夕食後、入浴。そのあと、営庭で、**軍歌演習**をやった。
- 21日：今日は**衛兵勤務**に服す。**司令は石川伍長**だった。日曜であったが、午前中、**執銃教練**に**小港**へ行った。割合に暖かな晩であったので、衛兵勤務も大分楽であった。今日は久しぶりに便りがあった。**杉崎君、大塚君、章典**より来た。どうしたのか、ここしばらく家から便りが来ない。
- 22日：衛兵勤務も無事に終わる。今日もまた良いお天気。午前は休養であったが、分隊の諸君が待機でいたので、良く寝られなかった。午後は炊事に使役に行く。割合に早く終わって、洗濯をした。
- 23日：今日は久しぶりに、砂運搬の作業の出た。朝よりお天気悪く、時々小雨があった。作業人員わずかに4名では、いくらも出来ない。午後2時ごろより、とうとう雨が降ってきたので、作業をやめて帰ってきた。蒸し暑い嫌なお天気。今晚は、入浴は出来なかった。
- 24日：今日は本部の使役に出た。早目に廠舎を出て、**大村の司令部に郵便物**を取りに行く。ずいぶんたくさんあった。有難いことに、**分会国防で、慰問品**を送ってくれた。手紙も来た。**子供の写真が来た**。夕食後、手紙を書く。
- 25日：今日もまた本部使役に出る。今日は糧秣運搬。6時半集合、大村に行く。受領したのが、11時。午後2回運搬して終わる。時に、午後2時なり。そのあと、また手紙を書いた。今日は大正天皇祭であったが、隊では休みにならなかった。夕食後、入浴をした。
- 26日：今日は**第二次基本射撃**。**洲崎飛行場**にて行う。本日。我が分隊は待機であったので、早く帰る。午後2時より、**銃剣の検査**があった。今日は入浴はやめ。一日中、お天気良く、ずいぶん暖かであった。

- 27日：一日良いお天気で、ずいぶん暖かな日であった。今日は砂運搬の予定であったが、セメントが自動車で来たので、セメント運搬をした。夕食後、入浴。夜遅くなって、雨が降ってきた。
- 28日：今日はまた**連珠谷**へ作業に行く。今日で大体、本年中の作業は終わる予定なので、日曜でも休まなかった。歩兵が来て、セメント運搬。われわれは、兵舎のところより、丸太を運んだ。割合に早く終り、夕食後、入浴。今日は**石川班長**は作業に出なかった。
- 29日：本年も余すところ、2日となった。内地はさぞ忙しいことと思う。ここ小笠原では、いまだに夏仕方である。何となく暮れらしい気分がしない。今日は午前10時より、**内務検査**があった。午後は使役。薪取りに行く。午後3時半より**隊長の訓示**があった。お天気はちと悪く、時々小雨が会った。明日より休み。外出が出来るとか、ただし勤務者以外だ。
- 30日：今年の作業も昨日で終りで、今日から1月3日までは休み。今日は朝から外出できるのだが、細雨がしきりに降り、陽気も大変に寒く、外出どころではなかった。とうとう一日中降り続けた。そして夜に入っても、やまずに降っていた。
- 31日：歴史に長く残るであろう、昭和16年も、いよいよ今日で終る。兵隊のこととて用もないので、午後2時まで魚釣りに行く。あまり大したことはなかった。**夕食の時に、お酒があった**ので、各小隊とも、みな元気に騒いだ。
- 過ぎしあとを顧みるに、**支那事変**も世界戦史にまれに見る戦果を収めして、着々最後の段階に入りつつあるとき、9月下旬、我に**召集下令**あり。勇躍壮途につき、ここ小笠原の任地につく。12月8日、英米戦に戦端開かる。我らが戦友は、いたるところに絶対なる武勇をあらわし、敵をして、顔色なからしめ、我に有利に戦果を上げて、この16年も終わるのである。我らが戦友よ。安らかに、この意義ある昭和16年を送ってくれ。

## <昭和17年>

### 昭和17年1月

- 1日：昭和17年も無事に明ける。十数年ぶりかの、軍隊でのお正月。午前7時、**宮城遥拝**を全員で行う。今日は待機分隊で、外出できず。午前9時、大村へ使役に行く。帰って休養。
- 2日：朝早くから大村に外出した。石川班長と一緒に徒歩にて行く。かなりの道のりであった。時計屋に寄ってすぐに帰る。午後は舎内で手紙書き。夕食後、風が出て、ちと寒かった。
- 3日：朝からお天気悪く、荒れ模様の風が吹き、小雨さえも交えて中々寒い日であった。常夏の国にも、こんな寒さがあるとは驚いた。一日中、年賀状を書く。夕食後、早く寝た。お正月の休みも早くも終わる。
- 4日：今年度、初勤務の衛兵に行く。昨日に比べて、今日は大分暖かであったので助かった。週番仕官に大分のご注意を受けおり、また現役のやり直しか、ほんとに嫌になる。本日、**第二分隊は、巽崎へ出張**した。
- 5日：衛兵もどうやら無事に明けて、疲れた体を、半日の休養で取りもどす。午後は例によって、何か使役があるかと思っていたら、何もなく、とうとう一日休むことができ、ほんとに有難かった。夕食後、時計を家に送るべく支度をした。
- 6日：本日は今年の**仕事初め**。昨年に続く、扇浦の海岸より、連珠谷へ砂利運搬。人員は長以下6名。ほかに歩兵も出た。今日、時計を送るべく、**金子氏に依頼**した。(代金15銭)
- 7日：明日行われる、**陸軍初の観兵式の予行**が、今日、**洲崎崎飛行場**において行われた。即ち、午前7時集合して、現場にいたり、予行を終わったのが13時。ちと腹が減った。午後は、武器被服の手入れで、休養した。
- 8日：**陸軍初の観兵式に参列**のために、午前8時、集合。被服検査して、9時、洲崎の飛行場に行く。お天気は悪く、幾分荒れ気味の風が吹き、今にも降りだしそうなお天気であったが、よいあんばいに、式が終わるまで降らなかった。この島始まって以来の、観兵式のこととて、見物人がずいぶんたくさん出た。午後はとうとう雨になる。慣れない事とて、とても疲れた。
- 9日：今日もまた曇ったお天気で、雨が降るかはずいぶん気をもんだが、今日は一日中降らなかった。今日は**連珠谷**に仕事。**第一分隊のコンクリート打ちの手伝い**をした。夕方、早仕舞い。野菜を買いに出た。
- 10日：第4回目の衛兵勤務。午前8時、交代。曇天の空は次第に悪くなり、時々小雨が降る。**司令、第一小隊の池田伍長**。暮れやすい冬の日が、西に落ちころより、とうとう雨になり、真暗な営庭は道が悪くて歩けなかった。割合に暖かな夜で、大変に助かった。
- 11日：第二日曜なり。午前8時、無事に衛兵を交代して帰る。今日は大変に良い天気で、営庭も大分乾いて良くなった。午前は休養。午後は、初めて**キャッチボール**をやった。久しぶりの事とてうまく行かない。早目に湯に入ったので、とても良いお湯。日中の汗を流す。午後7時半、点呼。衛兵疲れで、今晚はよく寝られることだろう。
- 12日：衛兵疲れて、寝たりない一夜は明けた。まだほの暗い午前5時半。今日は連珠谷にコンクリート作業なり。午前中、砂や砂利の運搬で、ずいぶん骨が折れた。午後は雨。朝からもよおしていたお天気も、とうとう崩れて作業できずに帰る。午後は内務班、休養であった。
- 13日：本日は我が分隊は、待機分隊であって、**関口友吉君**、1人残る。あとは使役と作業。俺は使役で、**衛兵所前に、哨舎を建てるお手伝い**。昨日の雨で、いたるところ泥海だ。足の踏み場もない始末だった。だから、ずいぶん仕事もやりにくかった。夕方まではどうやら出来上がった。今日は一日好天気であったので、道もとても良くなった。乾けばすぐに良くなるのだ。夕食後、長い時間も退屈に過ごす。
- 14日：朝より好天気なり。冷気は朝のうちにはちと感づれども、大したことはない。一日中、連珠谷でコンクリート作業をやった。肩が慣れていないので、かなり骨が折れる仕事なり。午後3時、作業を終えて帰る。夕食後、入浴。200からの部隊に、6尺風呂では、ちと足りない。その混雑はお話のほか。軍隊でもなければ、味わうことができない風影なり。

- 15日：早いもので、1月も中旬になる。小正月とか、町は大分賑やかであった。今日は大村の第一砲台に、セメントを取りに、早出で出かけた。歩兵も40名ほど来てくれた。自動車の都合悪く、夕方までに、扇浦までしか運搬できなかった。ほこりがあまりにひどいのに、ずいぶん骨を折った。第一砲台のものすごいのは驚いた。国防の完備を見て、非常に心強く感じた。今日午後、来信あり。先月24日、田所氏死亡したとの事。夕食後、悔状を書く。\*もほんとに気の毒な女だ。
- 16日：昨日のセメント運搬で、少し用事が残ったので、今朝早く出かけた。9時半帰って、連珠谷のコンクリートの作業に行く。午後は雨で、仕事にならず帰る。時々やんだが、大体において雨だった。陽気もわりあい寒かった。夕食後、第一分隊のラジオ組立った。約4ヶ月ぶりに、7時のニュースを聞く。血わき肉踊るの感があった。雨もまた強く降り始めた。
- 17日：応召して、早くも満4ヶ月は過ぎた。ほんとに早いのに驚く。今日はまた連珠谷に作業に行く。午前中は砂利運搬。午後は丸太を運んだ。昨夜の強雨により、道が悪くて、ずいぶん作業がやりにくかった。夕食後またラジオを聞く。
- 18日：第一日曜で作業は休み。お天気はとても良く、大分暖かであったが、風がわりあい寒かった。遠藤武雄君と2人で、山をあちらこちらと歩いて遊ぶ。何としても、面白くない外出だった。各分隊では、大分酔った人がいて、賑やかであった。夕食後、また風が出て曇った。いつ帰れるか分からないことながら、毎日毎日、兵隊は帰る話で大変だ。3月頃に帰れるという話がとても出ているが、どうゆうものか。
- 19日：昨日の日曜に、少し歩きすぎたか、今日は足が痛い。お天気良く、朝のうちは大分風が冷たい。点呼を取り、体操をやって、また連珠谷にコンクリート作業。歩兵は、今日もまた砂利運搬。大分作業が進んだらしい。俺は今日は、糧秣運搬の使役に大村に行く。予定変更で、薪を持って帰る。風があつて、波がかなり高かった。
- 20日：朝より好天気。風が強く、かなり寒い。作業は連珠谷コンクリートの砂運搬。かなりくたびれた。夕食後、入浴。夜もかなり冷えるらしい。
- 21日：今日は初大師だ。西新井大師様の賑わいが目に浮かぶ。懐かしい思い出。今日もまた連珠谷へコンクリート作業に出る。日中の暖かさに比べて、夜分の寒いこと。毛布が少ないのか、とても寒い。慣れない作業のこととて、ずいぶん疲れる。肩がとても痛む。夕食後、5時半に非常呼集あり。第一、第四小隊は大村に行軍。第三小隊は警備のため小隊に残る。細くかかった三日月は、寒い夜空にかかっていた。9時0分頃、各小隊は無事に帰る。ここに非常呼集の演習も、滞りなく終わり。小夜食を済ませて、9時頃に寝た。今晚もまた大分冷えるらしい。
- 22日：第5回目の衛兵勤務につく。お天気悪く、時々小雨があった。司令は第一小隊の望月軍曹なり。夜に入って、とうとう本降りとなり、かなりの雨量があった。割合に暖かな晩で大いに助かる。本日、芝園丸が入港した。小熊君より葉書来る。手紙が少ないのでちとがっかりした。
- 23日：午前8時、衛兵も無事に申送って帰る。雨はまだやまずに降っていた。間もなく雨も上がり、好天気になった。午前、舎内休養。午後は山へ薪取りに行き、その後炊事の外を少し片付けて仕舞った。夕食後、入浴。点呼を済ませてすぐに寝た。本日の衛兵司令は、石川伍長なり。
- 24日：明日の日曜に変えて、今日は休養(将校会議)であったが、我が分隊は待機分隊で外出なし。午前中、砂利運搬の使役。10時に終わる。一日中、何することもなく暮らす。午前中は洗濯をしたが、お天気が良いのですぐ乾く。夕食後、入浴は割合に暖かであった。
- 25日：午前6時に集合。大村に糧秣の使役に行く。総員11名なり。お天気悪く、時々小雨があった。午前中に1回運搬。今日は中隊は巽崎に行軍に行く。午後3回でやっと終わる。ずいぶん疲れた。夕食後、入浴。今晚はよく寝られるだろう。今日、結核の注射をした。
- 26日：今日は久しぶりに作業に出た。扇浦の海岸より、連珠谷に砂利運搬。工兵2個分隊に、歩兵も出て、大分運搬した。思いがけなく、今日は手紙が来た。松井田と高橋浜一君より来た。家より時計安着の通知を受けて安心。すぐに返事を出した。早く来てくれればよいが、待ち遠しいものだ。子供の写真も来た。大分大きくなったようだ。
- 27日：初めて炊事の魚取りの使役に行く。8時集合。リヤカーを引き、扇浦の波止場に行く。お天気良く、日中はかなり暖かであった。午前はそれで終わり。午後は炊事場で薪割り使役。かなり骨が折れる仕事。連日の作業で、かなり体も疲れている。

- 28日：今日は珍しく**境浦の陸軍病院**に使役に行く。**松沢、斎藤両君**とともに行く。風呂場の下水直しをやる。病院からも3名の使役が出た。一日中かなり一生懸命にやり、午後3時半に終わる。帰って、すぐに食事。その後入浴。かなり混んでいた。大分疲れた。今晚もよく寝られるであろう。明日は行軍の予定なり。
- 29日：**第三次行軍**。第一次、第二次ともに勤務で行かれなかったが、今日は何にもあたっていなかったのので、元気に行軍に参加した。**第三小隊は初寝浦**。我が分隊は4名。午前8時集合、同時出発。10時、初寝に到着。**飯盒炊さん**でお昼をやって、午後は2時出発。帰路につく。お天気良く、大分暑かった。夕食前に、洗濯。夕食後、入浴。疲れているので、早寝した。初寝に休憩中に、**水中爆破**によって、**かなり大量な魚を取った**。帰り、お土産がたくさんでかなり重かった。
- 30日：**第6回目の衛兵勤務**。今度、衛舎係なり。お天気良く、割合に暖かなり。月は満月で、真昼のようであった。炭がなく、炊火をしたので、ずいぶん煙かった。夜明けになって、かなりの雨が降ってきた。
- 31日：早くも17年の1月も終わる。衛兵勤務も無事に終わり。どうやら上がったお天気に、大分気を良くした。午前中は舎内休養。午後は**陸軍病院へ、ハカリを貸し**に行く。道も大分良くなり、お天気もようやく良くなり、乾いた道を気持ちよい涼風に吹かれながら帰る。時に3時。

## 昭和17年2月

- 1日：今日は第一月曜で休みであった。曇天にして風あり。割合に寒いお天気。今日は外出できる分隊なので、例によって、**遠藤武さんと山歩き**。午後、**扇浦**に出て、**金子さん**でお湯をいただき、よい気分です帰ってきた。
- 2日：薄曇りのお天気で、今日もまた寒い方の日和であった。今日は使役。一日中、大勢で薪取りに山へ行く。中々楽な仕事ではない。幾分風邪気味で、頭が痛む。早く床に入って、休んでいた。久しい間、**3月帰還のデマ**が飛ぶ。ほんとにそうなら嬉しいね。
- 3日：2、3日來の陽気の変動に、風邪を引いたか、今日も朝から頭が痛む。体が何となくだるい。無理をして仕事には出かけたが、どうも具合が悪いので、午後は演習を止めて帰り、舎内で休ませてもらった。お天気良く、暖かな日であった。
- 4日：風邪のため、今日は休み。診てもらって、**連兵休**になり、今日もまた舎内休養。大分具合が良くなったらしい。熱もあまりない。一日おとなしく床の中に寝ていた。昼間寝たので、夜ずいぶん遅くまで寝つかれなかった。
- 5日：あまり無理をしないで休んだので、治りも早く、今日は大分具合がよい。自重して今日もまた休ませていただく。お天気はとても良く、内地の3月の終わりを思わせる陽気であった。汗にした襦袢袴下を午前うちに洗濯をした。夕方になって、また熱が出たが、大したこともあるまいと思う。寝ていると、ほんとに退屈だ。早く時計が来れば良いが、待ち遠しい。
- 6日：ようやく元気になった。今日から演習に出るつもりでいたが、演習の都合で舎内に残る。今朝から、演習集合が7時になった。時々おかしな具合に変わるので、兵隊はほんとにまごつく。午前、お昼のおかずを持って作業に行った。昨晚だと思うが、**班長**の飯盒のふたが見えなくなったので、ほんとに困っていた。夕食後、久しぶりに入浴。ほんとに気持ち良かった。
- 7日：風邪で3日休んで、今日は4日目。作業に出た。風もなく、大分暖かな日。病気が上がりで、体の具合はほんとでない。一日中、波止場より連珠谷へ砂運搬。**明日、芝園丸が入港**すること。ほんとに待ち遠しい。明日は日曜勤務の衛兵で、今晚は早く寝た。
- 8日：第7回目の衛兵勤務。歩哨係なり。お天気は薄曇りなり。**司令・熊川伍長**。曇っていた故か、夜分は割合に暖かであった。明け方近くになって、半月が出た。夜明けはかなり寒かった。今日、久しぶりに手紙がたくさん来た。ほんとに嬉しい。**(深井さんより、小包送りしとのこと。早く来れば良いが。)**
- 9日：衛兵も無事に明けた。朝より大分良いお天気なり。陽気もゆるんで、大変に暖かなり。午前、休養。午後は扇浦に材木取りの使役に行く。今日もまた昨日の残りの手紙を受け取る。**純ちゃん**より新聞がたくさん来た。ありがたい。心待ちに待っている小包が来ないので、ちと悲願したが、まだ郵便局に残っているとのこと。明日が楽しみだ。新聞を読んで寝た。午後、雨が降る。
- 10日：今日は郵便取りの使役。午前7時集合。**軍船にて大村司令部**に行く。本日は郵便物はなく、小包ばかり。午前11時、受領終わり。船が出ず、とうとう午後1時まで、大村にいた。お昼ご飯は白\*でやる。相当期待した、自分宛の小包はとうとう来なかった。ほんとにがっかりした。早く時計が来れば良いのに。夕食後、7時、**警戒管制のラッパ**があった。大変に驚いた。
- 11日：**紀元2602年の紀元節**。朝より大変に良いお天気だった。午前8時、集合。**宮城遙拝式**あり。9時、外出。**柄津**と2人で大村に行く。**隣浜の廣野氏**で遊び帰る。往復とも軍船利用。待っていた軍用船は入らなかった。夕食後も大分静かだった。ここに今年の紀元の佳節も終わる。
- 12日：朝より曇天で、うすら寒い日。砂利と砂が間に合わないのか、今日は連珠谷の作業をやめて、**夜明山の山本部隊**の作業見学に行く。9時に夜明山に到着。大分立派なダムだ。10時頃より、とうとう雨になった。昼食を済ませて、帰路に着く。よいあんばいに、大した雨もなく帰ることができた。時に午後2時。袴の修繕。夕食後、入浴。夜に入って、雨は本降りとなった。本夕、**軍用船らしき船が入港**した。郵便を積んできたのなら良いが、とても気になる。
- 13日：珍しく昨夜よりの雨が降り止まずに、降っていたので、今日は作業は中止して、武器被服の手入れ。午後になって雨も上がり、どうやらお天気になる。袴下の手入れをした。待ちに待っていた**郵便船**は、とうとう入らずほんとにがっかりした。今晚は不寝番3番に立った。

- 14 日：午前中は幾分雲があったが、のちにはとても良いお天気になって、大変に暖かであった。コンクリートの材料が間に合わないので、今日は連珠谷の作業場の掃除をした。早くも、今月も下旬期に入る。過ぎたことを思えば早いものだが、先を考えるとほんとに嫌になる。早く帰りたいものだ。
- 15 日：今日は第 3 日曜日。朝より良いお天気よく、大変に暖かであった。午前 8 時より、**内務検査**があった。そのあと、営庭で、**隊長殿の訓示**があった。**内地と同じ取り扱いを受ける**ここは、何かにつけてほんとに難しくて困る。今日は待機分隊で、外出はなし。午前中、**キャッチボール**をやった。大変に良かった。お天気も、午後 3 時頃より悪くなり、とうとう雨になった。そして、とうとう降り止まず、夜に入って、ますます強く降り始めた。
- 16 日：**昨晚 7 時 55 分、シンガポール無条件降伏**を、今朝発表せらる。威なるかな、皇国の軍隊。今日はまた連珠谷へ作業に行く。お天気はあまり良くなかった。時々小雨。幾分風邪気味で、体がとてもだるい。**20 日過ぎなければ、軍船は入らない**とのこと。ほんとに待ち遠しいことだ。
- 17 日：今日は久しぶりに使役に出た。午前 6 時半、集合して大村に行く。**陣営員を取り**に行ったのだ。船の都合が良く、割合に早く 11 時に帰る。午後は薪取りの使役。夕食後、入浴。そのあと、頭を刈る。
- 18 日：朝のうちは曇天、小雨。作業に出かけたが、雨のため、午前中だけで帰る。正 12 時、**シンガポール祝賀の式**があった。**街では旗行列**があった。午前はとても良く降ったが、夜に入ると、いくらか小降りになった。明日はまた衛兵だ。今晚はよく寝ておきたいものだ。
- 19 日：第 8 回目の衛兵勤務。朝のうちは大分良いお天気であったが、午後は雲が出て、お天気が悪くなり、時々雨が降っていた。今日はまた**歩哨係**なり。夜明け方にかかなり寒くなった。
- 20 日：衛兵も無事に明けて帰る。相変わらず変なお天気。午前休養。午後は薪取りの使役に出た。山に 1 回、浜に 1 回、とうとう 2 回出た。夕方、**待望の軍船が入った**とのこと。時計が来れば良いが、心配だ。
- 21 日：一日中割合に良いお天気であったが、かなり寒い日であった。今日もまた作業は砂利運搬だった。軍船は入ったが、待ちに待った時計はとうとう来らず、ほんとにがっかりした。家からの手紙によると、さる 4 日に発送したとのことだ。時計よ、早く来い来いだ。
- 22 日(日)：朝より好天気なり。暖かく気持ちの良いお天気なり。今日は外出分隊で、午前から外出。扇浦へ魚釣りに行ったが、とうとう 1 つしか釣れなかった。早く帰り、洗濯をした。3 時頃、入浴。ほんとに張り合いのない日曜も終わった。(今朝、外出前に、**瓦斯演習**があった。)
- 23 日(月)：一日中、誠にむし暑いお天気であった。今日もまた一日中、**扇浦の波止場より、連珠谷砂利運搬**。時々小雨が降ったが、大したことはなかった。夕食後、入隊以来初めての**慰問袋**をいただく。**横浜の小学校**よりだ、ほんとにありがたい。
- 24 日(火)：朝のうちは、あまり香ばしいお天気ではなく、霧雨が時々降っていた。**小隊長殿は、巽崎へ**。一日中砂利運搬。午後はお天気も良くなり、かなり蒸し暑いお天気になった。夕食後、**慰問袋の礼状**を書いた。
- 25 日(水)：お天気よく、大分暖かであった。日朝点呼のときには、スコール気味の強い雨がたくさん降っていたので、危ぶんだのだが、良いお天気になったものだ。今日もまた一日中、砂利運搬。我が分隊は近日中に、夜明山に作業に行くとのことだ。
- 26 日(木)：朝より曇天。雨を気にしながら、今日は夜明山に作業に行く。(作井) 1 時間ばかりの作業で、とうとう雨に降られた。お昼をやって、帰路につく。かなりの雨と長道のために、ずいぶん濡れてしまった。通いの作業には、少し道が遠すぎる。帰って、洗濯をした。
- 27 日(金)：朝のうちは曇っていたが、のち大変に良いお天気となった。大分暑かった。早くも初夏の陽気になった。今日は**長以下 6 名で、夜明山に作井**に行く。大分張り切って約 6 尺やった。
- 28 日(土)：今日は初の**ガス演習**を、**中隊全員**でやった。午前中は**扇浦の海岸**でやり、午後は**小港の海岸**でやった。お天気よく、大分暑かった。今日、久しぶりに**四分隊が帰ってきた**。今晚より、また賑やかになった。早いもので、2 月も終わり、明日より 3 月だ。

## 昭和17年3月

- 1日(日):3月第1日は好天気。そして日曜日。朝7時より**隊長殿の訓示**があった。お昼過ぎ入浴。一日中何もせず、よく休んだ。待ちに待った**芝園丸**が、明日入る予定だったのが、途中で**敵潜水艦に襲われたとかで、また東京へ引き返した**とのこと。損害のないのは有り難いが、心待ちに待っていた俺は、ほんとにがっかりしてしまった。無事に早く来てくれれば、と神に祈るのみ。ここ2、3日来、風邪気味で頭が痛い。大東亜戦争も、ようやくその戦果を上げつつある。**ジャワ沖海戦**は、またものすごいものだった。(3月1日午後4時発表)
- 2日(月):1日の休養で、いくらか元気を取り戻す。今日もまた夜明山へ作井作業。一昨日と今日で、約9尺掘る。いくらか水気が出てきて、大分仕事がやりづらくなった。疲れて帰る。
- 3日(火):今日は桃の節句だ。地方の家々では、きれいに雛壇が出来ていた。夜明山に作井に行く。大分深くなったので、大分硬くなり、岩が出てきて作業がはかばかしくない。往復もさることながら、作井の作業ではほんとに疲れた。天無常。明けても暮れても、待ちに待つ連絡船・芝園丸は姿を見せない。ほんとにがっかりした。
- 4日(水):お天気は良かったが、風が大変に冷たく、割合に寒い日であった。作業はまた夜明山に作井に行く。とうとう岩が出て、今日は2回発破をやった。夕食後、入浴。話によると、芝園丸は8日あたりに入るらしい。
- 5日(木):昨晚12時近くに、**近所の人家に火災**あり。午前2時頃まで、**消火作業**をした。風邪があり、一時はものすごいものであった。今朝は起床は1時間延びた。作業はまた夜明山へ作井作業。人員が少ないので、作業は進まなかった。帰りは大村に廻る。夕食前に、**乾燥芋**が沢山渡る。
- 6日(金):朝のうち小雨が降っていたが、のち段々と良くなり、ものすごい良いお天気になった。今日は食事番で、おかず運搬。夜明山の作井作業も、いよいよ本格的な岩盤が出て、中々先へは進まない。夕食後、洗濯をして、そのあと袴下の修理をした。
- 7日(土):朝より好天気で、ずいぶん暑かった。久しぶりに**大村に使役**に行く。炊事の魚取りだった。午後は**司令官の巡視**があり、そのあと**先達の火事**について、**お褒めの言葉**があった。終わって、休養。大分暖かな1日であった。
- 8日(日):昨晚より降り出した雨は、とうとう、今日一日中やまずに降っていた。午後、皆で**小港**まで遊びに行く。今日、午前中に待望の**芝園丸が入港**した。明日は衛兵だとのこと。
- 9日(月):第9回目の衛兵勤務。昨日よりの雨が、今日もなおやまずに、ほとんど終日降りつづけていた。雨の衛兵はあまり楽なものではない。**司令は石川伍長**。日中は暖かであったが、夜分はちと寒くなる。夜に入って、雨は上がった。
- 10日(火):**第37回目の陸軍記念日**での今日は、夜来の雨も名残なく晴れて、朝より大変良いお天気であった。衛兵も無事に明けて帰る。午前は例によって寝た。今日は休日なので、午後も寝ながら、体を休める。待ちに待った小包も、また今日は来たらず、ほんとにがっかりした。明日はまちがいなく来ると思う。
- 11日(水):5日ぶりに夜明山に作業に行く。お天気よく、大分暑かった。2、3日降り続いた雨のために、掘りかけの井戸は雨水が約7尺もたまっていたので、今日は一日中くみ出すのにかかった。お正月に家に送った時計が、今日ようやく俺の手に入った。ずいぶん長い間、心待ちに待った。そのほか、**深井さんから慰問袋**が来た。
- 12日(木):今日もまた夜明山に仕事に行く。相変わらず暑いお天気で、ずいぶん骨が折れた。作井作業も、本物の岩が出て大変になる。時計の具合があまり良くないので、ほんとにがっかりした。
- 13日(金):朝のうち割合に強い風が吹いて、ずいぶん涼しかった。作業はまた夜明山に作井作業。日中は大分暑くなった。大分疲れて帰る。夕食後、入浴。明日は作業に行かぬ予定なり。
- 14日(土):今日は**森部隊の慰問団**が来るというので、作業もやめにして、朝から何かと準備に忙しかった。お昼のご飯がすんですぐに始まり、約4時まで、かなり面白く遊ばしてくれた。俺は接待係で、ほとんど一日中休みなし。ほんとにがっかりした。
- 15日(日):朝より好天気。いよいよ夏近しの感深し。状況は悪くて外出なし。ずいぶん退屈な日曜日だった。夕方、久しぶりにキャッチボールをやった。

- 16 日(月) : 2 日中を抜いて、今日はまた夜明山に作井作業に行く。ものすごい暑さで、往復がずいぶん骨が折れた。夕食後、営庭でまたキャッチボール。そのあと入浴。時計はとうとう駄目である。夜、霧雨が降り出した。
- 17 日(火) : 朝のうちぼんやりと曇って、雨を思わせるような空模様であったが、のちにはとても良いお天気になった。今朝 7 時 25 分、父島二見湾口 5 千米海上にて、我が軍・運送船が敵のため、沈没した。作業に行く途中、その有様を目のあたりに見て、ほんとに驚いた。作業は相変わらず夜明山に作井作業。今日、小隊長殿が来られた。応召以来満 180 日、ほんとに早いものだ。(石狩丸)
- 18 日(水) : 暑い暑い。早くも内地の夏の陽気だ、じっとしていても汗が出て仕方がない。作業はまた夜明山。今日は人員が少ないので、いくらも出来なかった。入浴 3 番。疲れているので、早く寝た。
- 19 日(木) : 早くも 3 月も下旬期に入る。作業場が遠く、そして山道なので、ここ 2、3 日來の疲れ方はどうも大変なもので、今日は歩くだけでやっとならなかつた。山へ行っても、仕事にならず、一日中皆の使役をやっていた。疲れた体を、やっとならなかつた。時に午後 4 時。夕食後、入浴 2 番。お天気は曇ったらしい。
- 20 日(金) : 昨夜はだいぶ雨が降って、その雨が今日は朝のうちはまだ降っていたが、のちに段々と良くなり、大変に良いお天気になった。今日は珍しく、糧秣の使役に出た。夕食後、入浴 1 番。よく晴れた夜空はだいぶ美しい。夜は急に冷えて、ちと寒かつた。
- 21 日(土) : 今日は春季皇霊祭で休み。日朝点呼直後、扇浦の海岸へ行つて、全員泳ぎをやつた。すきつ腹に朝飯はうまかつた。午前中に洗濯。午後、キャッチボールをやつた。今日、突然郵便が来たが、俺には純から新聞が来ただけで、手紙はなし。ちとがっかり。不寝番 5 番に立つ。
- 22 日(日) : 不寝番 5 番。異状なく申送つて、夜も明ける。朝のうちはお天気が悪かつたが、のち大変よいお天気になった。今日は久しぶりに外出。午前中、扇浦の川島さんと遊び、午後は海で貝取り。今日は珍しく遅くまで遊んでいた。疲れていたの、何もせず早く寝た。
- 23 日(月) : 珍しく雨が降つて休み。午前中、被服の手入れ。午後 2 時頃、内務検査を兼ねて、被服の検査があつた。午後は雨も上がり、だいぶ良いお天気になった。続けて 3 日休んで、だいぶ体も楽になつた。
- 24 日(火) : 5 日ぶりに夜明山に作井作業に行く。朝より好天気で、一日中ずいぶん暑かつた。午後、小隊長殿が来られた。帰つてきて、洗濯をした。夕食後、キャッチボールをやつた。入浴 2 番。夜に入つて、幾分涼しくなつた。
- 25 日(水) : 今日また夜明山へ作井作業に行く。朝のうちはちと曇つていて、涼しかつたが、のちにはとても暑くなつた。作井作業も岩盤では中々はかが行かない。今日はまた、敵潜水艦が付近の海に來たとのことだ。夕食後、警戒管制に入る。近頃はどうしたのか、夜に入ると頭が重いのに困つた。
- 26 日(木) : 朝のうちは霧雨が降つていたが、のちにはまたよく晴れて、とても暑い日になつた。作業は相変わらず夜明山に、作井作業。珍しく今日は、分隊全員が 1 ヶ所に集まつて作業をした。夕食後、入浴 1 番。
- 27 日(金) : 今日は珍しくとても涼しい日であつた。作業は今日もまた、夜明山に行く。石川伍長が衛兵で、今日は行かれなかつた。体は何となくだるくて、仕方がない。不寝番 1 番。
- 28 日(土) : 今日一日中とても良いお天気であつたが、割合に涼しく楽な日であつた。作業はまた夜明山に作井作業。午前中に司令官が夜明山に來られた。午後は小隊長殿が作業場に來られた。爆薬が間に合わないので、今日は早仕舞をして帰る。
- 29 日(日) : 今月最後の日曜は、朝より好天気であつた。2、3 日來、だいぶ涼しいので何をしても大変に楽だ。午前中、洗濯をした。一日中、ほとんど本を見て暮らす。夕食後、軍歌演習があつた。
- 30 日(月) : 一日休んで、今日はまた夜明山に作業。ずいぶん暑い日であつた。今日は一日中全員で、仮枠入れをやつた。仕事の都合で、帰りが遅くなる。また今晚も暑いらしい。
- 31 日(火) : 朝出かけのときには、良いお天気であつたが、のち段々悪くなり、とうとうお昼の時には小雨が降つてきた。今日は井戸の仮枠を全部完成をした。そして、お昼ご飯を食べて、一休みして帰る。夕食後、キャッチボールをする。入浴 2 番。期待した 3 月も、とうとう終わる。いつ帰るのか、ちつとも分からなくなつてきた。

## 昭和17年4月

- 1日(水): いよいよ4月に入る。陽気もようやく夏に入る。だが今日はまた、割合に涼しかった。作業もまたまた夜明山。東部隊へ行って作井作業。今日は一日がかりで、巻取り機を作る。今日から起床時間が30分早くなり、午前5時。日夕点呼が1時間遅くなり、8時半。1日で1時間半延びたわけだ。久しぶりに、家より手紙が来た。家でも子供達も皆元気とのこと。何より嬉しく思っている。満月に薄もやがかかって、雲多く、雨近きを思わしめる。
- 2日(木): 今日は珍しく糧秣使役に出た。軍船で大村に。帰りは軍の自動車で来たので、今日は大変に楽ができた。午後1回、米の運搬をして、早目に終わる。午後5時、全員で扇浦まで木材運搬。夕闇迫る頃、夕食。今日、芝園丸が入港した。
- 3日(金): 今日は神武天皇祭で休み。珍しくビールの下給品があった。午前は舎内にて、午後は海に貝取りに行く。だいぶ貝が取れて、ずいぶん面白かった。夜に入って、お天気は悪くなり曇った。不寝番1番。
- 4日(土): 朝より曇り、珍しく執銃教練を、洲崎飛行場でやった。8時集合して行く。帰りはとうとう雨に降られた。一日中、ほとんど雨が降っていた。午後3時より、内務検査があった。
- 5日(日): 日曜日は、終日好天気終わる。今日は待機分隊で、外出なし。舎内にて休養。夕食後、軍歌演習があった。よく晴れた夜空には、星でずいぶんきれいであった。近頃は陽気が良いので、とても良く寝られる。
- 6日(月): 久しぶりに夜明山に作井作業に行く。起床が30分早くなったのと、夜分の陽気が良いので、朝はとても眠い。日中の暑さはまた格別だ。入浴を済ませると、疲れが一時に出て、ほんとにがっかりする。
- 7日(火): 割合に涼しい一日を送る。夜明山防空隊の作井作業も、岩盤で中々思ったより先へ進まない。午後、小隊長殿が来られた。風呂が壊れて、今晚は入浴なし。
- 8日(水): 今日もまた作井作業に夜明山に行く。時々曇りの涼しい日。作業には楽な日であった。連日、遠い通い作業で、皆ほんとに疲れている。夕食前に、洗濯をした。
- 9日(木): 割合に大勢で、夜明山に作業に行く。岩盤が硬く、爆破がよくきかないので、作業も中々進まない。今日は作業の合間に、パイプを作る。帰って3日ぶりに入浴。ぬるいのでまいった。明日は衛兵なり。
- 10日(金): 第10回目の衛兵勤務。営舎係なり。お天気悪く、一日中しぶしぶ雨が降っていた。夕食後は雷さえ交えて、ものすごい降りになる。眠い眠い夜。衛兵勤務はほんとに辛い。
- 11日(土): 夜中に少しの間上がっていた雨も、夜明けと一緒にまたものすごく降り出した。定時、衛兵も無事に明けて帰る。午前中、休養。午後は内務検査があった。
- 12日(日): どうやら上がったお天気も、曇りながらも一日中もっていた。今日は外出。久しぶりに外でお酒を飲んだ。お昼の時に帰る。そして、夕方まで寝ていた。
- 13日(月): 朝のうち小雨あり。ために、衛内作業を中隊全員にてやった。ちと作業場より砂利運搬をやった。一日中蒸し暑く、曇っていた。夕食後、入浴。風邪気味で頭が痛む。
- 14日(火): 久しぶりに夜明山に作井作業に行く。2、3日来の雨のために、掘りかけの井戸に、雨水が4尺ばかりたまっていた。班長は衛兵で行かれなかった。日曜以来、腹の具合が悪いので困った。
- 15日(水): 今日もまた夜明山に作井作業に行く。朝のうちはお天気良く、ものすごく暑かったが、お昼頃よりお天気が悪くなり、時々小雨が降るようなお天気になった。そして、とても涼しい日になる。今日は一日がかりで、パイプを作り、小隊長と加藤安君にやる。久しぶりに手紙が来た。植村フミ・高橋浜一・佐々木厚 三氏より。
- 16日(木): 2、3日来、腹具合が悪くて仕方がなかったが、とうとう今日は休んでしまった。今日一日、舎内で休養をした。お天気よく、だいぶ暑い日であった。分隊は夜明山に作業に行く。
- 17日(金): 今日はとうとう診断を受けて、連兵休になる。分隊の作業は、休んではいけないのだが、やむを得ない。お昼よりかゆ食なり。夜中に腹が痛んで困った。今日、夕方より雨が降り出した。

- 18日(土): 雨もやみ、どうやらお天気になった。今日もまた連兵休だ。中隊は**ガス演習**。午後は、例によって内務検査があった。だいぶやかましかった。2時頃より、また雨が降り出した。◎本日、午後0時30分頃、東京の京浜間が敵機の爆撃を受けたとの報道があった。敵機9機を落としたりしたこと。損害の程度はいまだ不明なれども、大変なことであったことと思う。外国機の攻撃を受けたのは、わが国にては、開国以来初めてだ。われわれの驚きはさることながら、銃役の人たちはどんなであったことだろう。
- 19日(日): 珍しく一日中雨が降り続いて、せっかくの日曜も台無しだった。朝7時より、第一小隊において、中隊長殿の精神訓話があり、そのあと月例身体検査。午後は上等兵の学課試験あり。ずいぶん忙しい日曜。腹具合は相変わらず悪く、便所通いも、道が悪く、まったくこたえた。夜に入って風も加わり、雨はますます強い。
- 20日(月): 夜来の雨もどうやらやんで、今日はお天気になる。分隊は夜明山に作業。俺は連兵休。腹の具合も大変に良くなった。夕方になり、またお天気がおかしくなり、夜に入って、また雨が降ってきた。
- 21日(火): 雨も夜のうちに上がり、今日はまた暑い暑い日になった。今日もまた休み。午前中に洗濯をした。分隊は夜明山に行く。夕方になって、夕立雨が降ってきた。雨はすぐにやんだ。夜に入って蒸し暑く、中々に寝つかれなくて困った。
- 22日(水): 午前中は雨で休み。かなり強い雨であったが、10時頃雨はやんだ。午前中、小隊長殿の学課があった。早お昼で、全員営庭の地ならし。やりきりじまいで、ずいぶん大変であったらしい。俺は休み。
- 23日(木): 腹を痛めて、ここしばらく休んだが、今日はだいぶ良くなったので就業となる。一日中好天気。吉田君と2人で、内務班の大掃除をやった。そのあと、洗濯をした。夜、扇浦国民学校に、海軍のニュースの活動があり、中隊全員行く。俺は1人で残り。
- 24日(金): 腹もどうやら良くなったので、今日から作業に出た。今日は本部の木工使役であった。一日中、板削りをやった。夕方、割合に早く仕舞って帰る。久しぶりの事とてちと疲れた。
- 25日(土): 一日中好天気であったが、割合に涼しかった。今日、靖国神社の臨時大祭で休み。早く入浴を済ませて、ゆっくりと休養。夕方、久しぶりにキャッチボールをやった。今日のお昼の警戒警報が解除になり、午後は外出があったが、我が分隊はなし。
- 26日(日): 作業の都合上か何か知らねども、今日の日曜日は休ませもせず、一小隊を除く全員、衛内作業をやる。三小隊はうまやの移動をやった。盛り沢山の仕事でずいぶん大変であった。夕食後、背のうをつける。明日は観兵式の予行の予定なり。
- 27日(月): 今日**天長節観兵の予行**を、洲崎飛行場で行われた。お天気よく、ずいぶん暑かった。午前中で終わりになり、午後は休養。本日、芝園丸が入港したが、便りは来たらず。明日は衛兵なり。
- 28日(火): 第11回目の衛兵勤務なり。衛舎係なり。明日の準備も終わり、今日は分隊の諸君は作業なり。一日中お天気良く、中々蒸し暑かった。陽気が良いのか、体が疲れているのか、夜はととも眠かった。
- 29日(水): **天長の佳節**。一日中、とても良いお天気なり。衛兵も無事に明けて帰る。午前は寝て、午後は休み。お昼のとき、久しぶりにお酒を飲んだ。馬鹿に酔っ払った。外出ができるはずであったが、午後は寝ていた。不要品を家へ送るべく、荷造りをした。
- 30日(木): ようやく4月も終わる。ほんとに早いものだ。今日は**靖国神社の大祭**で休み。外出もできないので、一日中舎内でぶらぶらしていた。夕食後、久しぶりに手紙を書いた。最早、夏か。今日あたりはずいぶん暑かった。明日は、久しぶりで夜明山に行く予定だ。もう作業も嫌になってきた。早く帰りたいものだ。

## 昭和17年5月

- 1日(金): 朝よりなんだか雨模様のおかしな天気。そして、ずいぶん蒸し暑かった。作業は夜明山へ作井。ずいぶん久しぶりの山登りであった。午前、かなりの大雨が降って、いくらも作業ができなかった。今日、小包を発送した。
- 2日(土): 今日もまたとても良いお天気。中々暑かった。今日は班長が衛兵で行かなかった。山登りもずいぶん疲れる。
- 3日(日): 心配した今日の日曜日も、やっと休みになったので、**石川さん等と一緒に、船で小港に魚釣りに行く。**午前中はかなり面白い釣りができたが、午後は駄目だった。日鏡で覗くと、良く済んだ海は、とても綺麗であった。疲れて時間いっぱいになる。
- 4日(月): また夜明山に作井作業に行く。井戸も岩盤のために、中々深くならない。でも、25尺ばかり掘れた。毎日毎日爆破で大変だ。今日また**警戒警報が発令せられた。**最早、内地の真夏だ。暑さのため、ずいぶん疲れる。
- 5日(火): 今日もまた夜明山。一日中、かなり暑い日であった。依然として、**警戒警報中**であった。今日、初めて**兵隊の進級**があった。幸いにも、**兵長に進級**できた。これからが中々大変だ。進級してよいのか悪いのか。
- 6日(水): 今朝、起床4時。**進級者の申告式**があった。点呼が幾分遅れた。朝のうちは好天気なれども、のち曇ってだいぶ楽であった。作業は相変わらず夜明山に行く。今日は**芝園丸出港。**俺の便りもまた届く。
- 7日(木): 朝のうちはちとお天気が悪かったが、のちとても良いお天気になって、ずいぶん暑かった。今日もまた夜明山に作井作業。総員10名。割合に大勢だった。午後、小隊長殿が来られた。そして一緒に帰る。
- 8日(金): 今日**は誓旨俸休日**で、日朝点呼の時に、**誓旨の奉読**があった。お天気を気にしながら、夜明山に作井作業に行く。日中は割合に良く、かなり暑かったが、帰りにはとうとう雨に降られた。が、良いあんばいに濡れずに帰ることができた。夜は雨も上がりはしたが、月はなく、ずいぶん暗かった。7時半になり、**扇浦の学校へ海軍の活動を見**に行く。久しぶりに見ることで、だいぶ面白かった。ずいぶん疲れた。
- 9日(土): 幾分荒れ気味の風が吹いていて、木陰はだいぶ涼しかった。お天気は良く、外はずいぶん暑かった。作業は夜明山に作井作業。帰りに、作業場に時計を忘れてきて、ずいぶん骨を折ってしまった。夕食後、**週番(甲)**を申し受けた。入隊以来、**初めての週番勤務**だ。夕食後、営庭で浪花節があった。(兵隊)
- 10日(日): 折角の日曜日も、一日中どんより曇っていて、時々小雨があった。週番では遊ぶこともできず、一日中事務所でくすぶっていた。外出者も無事に帰り、一日の勤務も終わった頃には、ずいぶん疲れた。
- 11日(月): 朝より好天気。日当たりのよいところは、ずいぶん暑かった、木陰は涼しい風が吹いていた。診断も終わり、掃除も済んで、午前中は一休み。午後も大したことなく、一日終了。今日、**第2回目の慰問袋**をいただく。(下谷区)
- 12日(火): 朝より霧雨が一日中降っていた。降る雨について、全員作業に出た。午前中、**陸軍病院**に、退院者を迎えに行く(**二小隊・中西重次**)。午後は、もっとも嫌な便所掃除。ずいぶん骨が折れた。明日は休養の予定なり。
- 13日(水): 先月26日の日曜代日で、今日は休み。そして、普通の外出があった。週番で外出はできなかったが、それでも休日はのんびりとする。夕方、**母島の斎藤少尉殿**が来られた。明日は週番を交代して、一日休めるとのこと。ありがたい。
- 14日(木): ありがたいことに、今日は一日、週番勤務を交代して休む。午前中は**小港へ魚釣りに行く。**同行4名。大したこともなかった。午後は久しぶりに大村に遊びに行く。**要塞神社のお祭り**で、**大村小学校校庭で、兵隊の余興**があって、大変に賑やかであった。帰ってすぐに降り出した雨は、とてもすごく、少し遅れて帰った人たちは、まるで水の中から出たような濡れ方であった。割合涼しく、よく寝れそうだ。
- 15日(金): 今日**はまた週番**申し受け。朝よりものすごい雨が降っていて、のちに雨も上がり、どうやらお天気になったので、外出者が出た。一日中何もするともなく過ごした。午後は時々小雨があった。隊長殿は、午前中に大村に行かれて、点呼の時に帰られなかった。要塞神社のお祭りも、滞りなく終わったことと思う。また雨が降ってきた。

- 16 日(土)：朝より非常なる大雨。何をするのに、ほんとに困った。週番もいよいよ今日で明けるのだ。午後、内務検査があるので、午前中は何かと忙しかった。夕食後、無事に週番を申し送って帰る。なんだか重荷を降ろしたような気がする。
- 17 日(日)：外出のできる日曜日であったが、一日中ものすごい雨が降っていて、とうとう外出もできなかった。ここ 2、3 日は毎日雨ばかり。ちょうど梅雨のようなお天気だが、内地と違って、とても雨が強い。今日また時計が壊れてしまった。今度の船で送ってしまおう。
- 18 日(月)：長い間よく降った雨も、どうやら今日は上がり、中隊全員営内作業。俺は砂利運搬をした。坂道を上がったり下ったり、中々疲れる仕事であった。夜に入って、また雨が降ってきた。明日のお天気は？
- 19 日(火)：お天気よく、ずいぶん暑かった。今日もまた**検閲準備**で砂利運搬に出る。ずいぶん疲れたが、午後 2 時より、**明日の健脚競争**の出場人員は休みになった。そして、日夕点呼は 7 時になった。明日のため、今晚はよく寝ておこう、
- 20 日(水)：晴れの**健脚部隊競争**に出場のために、午前 7 時出発。9 時 10 分、大村に向かって出発したが、ずいぶんものすごい駆け足なので、ほんとに驚いた。やっとの思いでゴールイン。所要時間 55 分。午後は休みであった。洗濯を済ませてから、ゆっくりと休む。夕方、久しぶりに便りが来た。尾久の武井さんが、先月 21 日に亡くなったとのこと。お気の毒なり。又雄も南方に進出したとの通知があった。
- 21 日(金)：昨日の行軍で、あまり無理をしたので、今日は体が痛く、特に足は特別に痛いので、作業をやめて、舎内で休ませてもらった。今日もまた**検閲の準備**で、営内作業。お天気悪く、時々小雨が降って、ずいぶんやりにくいらしかった。夜はとても涼しく、寒いくらいだった。
- 22 日(土)：朝のうちはまだ雨が降っていたが、のち良くなり、珍しく好天気になった。午前 10 時より、営庭において、検閲予行があった。強い 5 月下旬の陽がかなり身にしみる。12 時近くになって帰り、午後は又営内作業だった。明日は**検閲**だ。早く終わってくれなければ、ほんとに困る。お天気にしたいたいものだ。
- 23 日(土)：**軍隊最大の行事たる検閲**が、今日、自分の隊で行われた。午前 7 時半集合。8 時半に始まった。司令官殿を始めと、大勢の将校が来た。無事に終わったのが、12 時。午後は休養だった。一日中好天気恵まれて、ほんとに良かった。午後、家へ小包を送る。
- 24 日(日)：検閲明けた今日は日曜日。ご苦労とのことで、今朝は起床が 2 時間延びた。お天気良く、だいぶ涼しく、楽なお天気であった。同行 4 人にて、小港へまた釣りに行く。大したこともなく、疲れて帰る。
- 25 日(月)：ずいぶん久しぶりに夜明山に作井作業に行く。朝よりお天気悪く、だいぶ涼しいお天気であった。先日の雨で、掘りかけの井戸は雨水がいっぱいたまっていた。午後にはとうとう雨が降り出したので、早仕舞をして帰った。夜に入っても、時々雨が降っていた。
- 26 日(火)：一日中どんよりと曇っていて、蒸し蒸しするお天気であった。作業はまたまた夜明山に作井。だいぶ雨水がたまっていたので、一日中水をくみ出す作業をした。午後、**小隊長殿**が来られた。お天気が悪いので、早仕舞で帰る。珍しく家から手紙が来た。
- 27 日(水)：この土地の梅雨期か、ここ 4、5 日は毎日毎日じめじめした嫌なお天気で、誠に嫌になる。作業は相変わらず夜明山に作井。今日も一日中水汲みだったが、まだ全部は汲みきれなかった。
- 28 日(木)：ものすごい強い荒れ気味の強風が、終日吹きまくっていて、雨雲が低くたれこめ、夜明山は一日中霧が立ち込めていた。湿っぽい蒸し暑い日。夜はまた夕立雨がかなり降る。
- 29 日(金)：毎日毎日曇ってたお天気も、とうとう今日は雨になった。この島特有の降り方で、時々強く降ったりやんだり。それでも午後はお天気になり、久しぶりに陽の目を見る。作業は休みで、ゆっくり骨休めをした。入浴 1 番。
- 30 日(土)：今日は晴れると思っていたお天気も、昨日よりも悪く、一日中ものすごい雨がやまずに降っていた。作業にも出られず、一日中舎内にくすぶっていた。午後、簡単な内務検査があっただけ。いささか退屈した。
- 31 日(日)：早くも 5 月は終わる。内地ならば初夏の候だ。崩れ出したお天気は中々直りそうもなく、今日もまた一日中ほとんど雨。それに風さえまじえての嵐だった。作業も出来ず、今日もまた一日中舎内に休んでいた。夜に入って、久しぶりにお天気も上がり、星さえ出た。明日はまちがいなく晴天だ。

## 昭和17年6月

- 1日(月): ようやく6月にはいる。過ぎたことを思えば、早いと思うが、先を考えるとちと憂鬱になる。この島の兵隊が、初めて内地に帰還したとのことであつたが、全然デマだった。作業場は相変わらず夜明山。作業場を掃除して帰る。
- 2日(火): 珍しく久しぶりの使役。船に乗れず、徒歩で大村に行く。帰って昼食。午後はまた使役。夕方、**下駄を作る**。明日は衛兵の予定。
- 3日(水): 第12回目の衛兵勤務。ずいぶん久しぶりだった。お天気良く、蒸し暑い日なり。本朝、**この島より第1回帰還者が若干帰った**。俺も早く帰りたいものだ。眠い眠い夜も、好天気のうちに変更して行く。
- 4日(木): 衛兵も無事に明けて帰る、今日は**慰労休暇**で休み。午前中は休養。午後、入浴。そのあと、洗濯をした。お天気良く、焼けつくように照りつける太陽は、ものすごいばかりであつた。
- 5日(金): 雨期より明けたと思われる、今日この頃のお天気は、ほんとに南国らしい暑さを、毎日続けている。今日は久しぶりに夜明山に作業に行く。今日もまた水汲み仕事。午後、小隊長殿が来られた。夕食後、夕立雨があつた。
- 6日(土): 休日に変更になり、**今週より毎土曜日が休養日**となつた。第1日の今日、久しぶりに大村に行く。**司令部の酒保**ができたので、甘いものを腹いっぱいにして帰る。午後は**斎藤君**と小港へ魚釣りに行く。波は大変にあつて、とうとう酔っ払ってしまって、駄目だった。
- 7日(日): お天気良く炎暑。\*\*\*\*今日はまた夜明山に作業。今日もまた一日中水汲みで終わる。暑さと道のりが遠いので、ずいぶん疲れた。
- 8日(月): 薄曇りのお天気で、山は霧が低く、強風吹き、割合に涼しい日であつた。仕事はまた夜明山に行く。今日でやっと水汲みが終わる。久しぶりに手紙が来た。
- 9日(火): 一日中好天気で、かなり暑い日だった。作業は相変わらず**夜明山防空隊**に作井作業。今日は久しぶりに岩盤に手をつけ始めた。午後には珍しく**隊長殿**が来られた。
- 10日(水): いよいよ待望の**夜明山出張**。午前7時、出発。午前中に全部運搬終わり。午後は宿舎の準備をした。初めての夜明山。夜に入って霧が多いのに、ほんとに驚いた。点呼を取って、すぐに寝た。
- 11日(木): 慣れない宿舎に一夜を明かした。今日は一日中お天気悪く、時々小雨が降って、作業をやったりやめたりして、ずいぶん嫌な日であつた。夜に入り本降りとなり、かなり涼しい晩であつた。
- 12日(金): 今日は朝からとても良いお天気であつたが、その割合に涼しい日であつた。一日中、作井作業。壊れた腕時計を送るべく、荷造りをした。
- 13日(土): 今日は定期の休日。用事もあつたので、外出した。**中隊**へ行き、小包を出して、午後大村に行く。**営外の酒保**で、**餅菓子**を食べて、早く帰る。帰りは良いあんばいに自動車があつたので、ほんとに助かる。夕食後、初めて入浴。そのあと、**松沢君**と**剣術**をした。
- 14日(日): 今日は作業をやつた。お天気よく、ずいぶん暑かつた。午前中に**小隊長**が来た。**松沢君**が**本部付け**になつたので、今日山を下つた。毛布を持って、送っていく。暑いのでずいぶん大変だった。小隊長は今晚夜明山泊まりとのこと。
- 15日(月): お天気よく、暑さ厳しく、作業もかなり骨が折れた。今日、珍しく**本部**より**高橋、小早川両軍曹**が**作業見学**に来た。午後、**班長**は**大村**に行った。夕食後、入浴、汗を流す。6月も下旬期に入る。満期話も、ここの所立ち消えになっている。
- 16日(火): 今日もまた一日中、とても良いお天気で、ずいぶん暑かつた。一日中、作井作業。今日は爆破を1回した。夕方、船が入つたとのこと。明日は便りがくるか?
- 17日(水): しばらく続いたお天気も、いくらか下り坂で、今日は薄もやのかかつた蒸し暑いお天気であつた。相変わらず夜明山に宿つて、作井作業。午後、小隊長が来られた。そして、今晚はここへ宿りとのことだ。思いがけなく**石井澤次君**より**手紙**が来た。
- 18日(木): 応召入営の日より、満9ヶ月。早いような遅いような気がする。お天気は相変わらず良く、ずいぶん暑かつた。作業は作井。午後、小隊長は中隊へ帰って行った。夕食後、頭を刈る。暑さのためか、ずいぶん疲れている。
- 19日(金): 続き始めたお天気は、今日も朝よりものすごい暑さであつた。今日は午前中、作業。午後は武器被服の手入れで、作業は休み。明日は休みだ。今日午後、**芝園丸**が**入港**したとのことだ。

- 20日(土):昨夜21時30分、久しぶりに警戒管制に入る。今日は休養日であったが、外出はなし。舎内において、休み。午後、蓄音機をかけて遊ぶ。ここしばらく雨はなく、毎日照り続く好天気、焼き付くような暑さに、皆ほんとにまいつている。
- 21日(日):今朝7時半、警戒警報も解除になった。お天気は相変わらず良く、一日中かなり暑い日であった。今朝、洗濯をした。良三君が代筆で、きみ子の病気を知らせてきた。大したこともないと思うが、困ったことだ。
- 22日(月):続き始めたお天気は、毎日毎日ものすごい暑さが、我々を悩ましている。今日も一日、作井作業。夜明山に出張して、ここ22日、早いものだ。夕食後、河に体を洗いにいく。点呼後、暑さで眠れず、ずいぶん長く起きていた。
- 23日(火):相変わらずの上天気で、暑さも中々厳しい。作業は相変わらず。作井作業も、さる2月26日以来、満4ヶ月も掘ってはみたけれど、なにぶん山上とて、水の出る見込み立ちず、ここ2、3日中に掘ることは中止にするらしい。残念だが仕方がない、夜は涼しい風が吹いて、だいぶ楽であった。
- 24日(水):相変わらず上天気にて、暑気厳しく、作業も中々骨が折れる。井戸もいよいよ今日で掘じまいだ。木工士は井戸枠にかかる。一日中ほとんど道具直しで、いくらもできなかった。夕食後、河に体を洗いにいく。
- 25日(木):今日は月例身体検査で、作業は休み。午前7時、全員小曲兵舎に行く。相変わらずお天気良く、暑さ厳しく、ずいぶん骨が折れた。中隊も今日は休み。午後、扇浦海岸へ遊泳演習に行く。久しぶりに泳いで、大変に気持ちりが良かった。2時、大村に行く。隣浜で、1時間ばかり魚釣りをした。暑い最中を、徒歩にて夜明山の兵舎に帰る。今日はずいぶん疲れた。
- 26日(金):任地・小笠原出島に上陸して、ここに満9ヶ月目だ。今日もまた作井作業。いよいよ井戸も水が出ないことに決まったので、今日で堀止めにした。俺たち、木工士は井戸枠にかかる。大分できたが、全部はできない。夕食後、皆で谷川に水浴に行く。日も落ちて、涼風が立ちそめる頃は、昼の暑さを忘れる涼しさだ。
- 27日(土):今日は我が隊の休養日。今度は外出できない番なり。お天気は相変わらず厳しい暑さ。久しぶりに斎藤君と釣りに行く。乳頭山の下で、かなり面白い釣りができたが、往復がとても大変なので、ずいぶん疲れた。
- 28日(日):昨日の魚釣りはかなり疲れた。今朝起きたときには、足が痛かった。井戸掘りも終わり、今日は本枠入れをやった。一日中かなり暑かった。夕方、二見港に軍艦が入った。涼みながら山の上に見に行く。
- 29日(月):降るかと思ったお天気も、また持ち直して、今日もまたものすごいお天気になり、ものすごい暑さになる。今日もまた作井作業。午前中、枠の準備。午後、枠入れ。枠を入れて、本日の作業は終わり。今日は本部の高橋軍曹が見学に来た。
- 30日(火):いよいよ6月も終わる。お天気よく、一日中暑かった。今日は中隊へ器具を返納に行く。午前9時、夜明山より自動車にて大村へ。11時、中隊へ行く。器具の返納を終わり、2時の船で、大村を回って帰る。ずいぶん暑く、とてもくたびれた。

## 昭和17年7月

- 1日(水): 雨が近いのか、今日は一日中薄曇りの、割合に涼しいお天気で、ずいぶん楽であった。一日中、作井作業。杵の通りのバラス入れ。夕食前、入浴。一日の汗を流す。
- 2日(木): 降るかと思われたお天気も、また持ち直して、今日もまた一日中、とても良いお天気になった。そして、午後暑かった。暑さがひどいので、作業もはかどらなかつた。
- 3日(金): 今日もまた一日中良いお天気。班長は中隊へ、器材を取りに行く。作業人員は5名。井戸杵の取り付けを、午前中にやり、午後は休養した。
- 4日(土): 昨夜、またまた**警戒警報が発令**され、今日の休養日はまた外出できずにしまった。お天気は良く、暑さはまたものすごいものだった。午前9時、**予防接種**をやった。熱が出て、体がだるく、一日中寝ていた。
- 5日(日): 注射をして一晩たった。今朝は体中だるく、仕事にも出られない有様であったが、休むこともできず、とうとう9時ごろに作業に出た。午後は休養。午前の無理がたたって、ずいぶん体が大气であった。
- 6日(月): 珍しく今朝の明け方に、若干雨が降った。ここしばらく雨がなかったので、ほんとに雨が欲しいところだ。日中は相変わらず好天気。午前作業で、午後は休み。夕方、谷川に体を洗いに行く。午前中に**警戒警報解除**された。
- 7日(火): 第一次作井作業も、ようやくあと2日で完成することとなった。今日は珍しく一日中曇天。割合に涼しかった。午後はまた休み。例によって、谷川に遊びながら、体を洗いに行く。夕方、小雨があった。
- 8日(水): 時々雲のかかった、蒸し暑いお天気。午前中は相変わらず作井作業。10時過ぎ頃の暑さは、例えようのない程だった。午後は**乳頭山**の下まで釣りに行く。相変わらず**斎藤君と2人**。今日は珍しく大釣りができた。
- 9日(木): 大体において曇りがちなお天気であったが、時々顔を出す太陽の光は、ほんとに暑く、ものすごいものであった。長らくかかった作井作業も、今日で大体でき上がった。大分綺麗にできたが、水が出ないのがほんとに残念だ。今日、小隊長が来た。午後、少し作業。面白くなかった。
- 10日(金): 夜明山へ出張して、早くも満1ヶ月になった。早いものだ。作業は午前中だけ。午後はまた乳頭山へ魚釣りに行く。今日はまるで駄目だった。帰ってきてから、谷川に洗濯に行く。
- 11日(土): 今日は午前9時より、第2回目の注射をした。2回目のこととて、大分薬が効いたのか、ずいぶん痛かった。一日中作業を休んで、舎内で寝ていた。夜に入って熱も出た。大分苦しくなった。
- 12日(日): 注射をしたので、今日の日曜は外出は取りやめにして、午前中寝ていた。午後、斎藤君と2人で乳頭山へ釣りに行く。大骨折りをしたが、まったく芳しくなかった。
- 13日(月): 今日もまたとても良いお天気で、ずいぶん暑かった。日中の温度も、相当に上がっていることと思う。作業は今日から、いよいよ下の井戸、即ち**第二次作井作業**だ。一日中準備作業をした。俺は下水の石積み。午後は例によって**休み**。お昼休み時、谷川に洗濯ながら、体を洗いに行く。夕方、珍しく少しばかり雨が降った。
- 14日(火): 今日もまたものすごい良いお天気。そしてまたとても暑かった。下の井戸にかかって2日目。今日もまた準備作業。午後2時、**東隊長**と兵隊2人、それに俺に斎藤君と5人で、乳頭山の下に釣りに行く。乳頭山の兵隊で、夕食を御馳走になって帰る。時に8時。今日は大したことなかった。
- 15日(水): 暑い暑い日がまた訪れた。拭いても拭いても、出てくる汗は止まらない。ほんとにほんとにもものすごい暑さだ。午後、**小隊長殿**が来られた。夕方、谷川へ体を洗いに行く。
- 16日(木): 来る日も来る日も誠に良いお天気で、南国の夏らしい日が続いている。今日もまた掘削作業。**お盆の16日**で、幾分早仕舞。午前中、体を洗いに行く。今日、**隊長**が来た。幾月ぶりか、珍しいことだ。午後は昼寝をしないで、**宮内君の\*\*\*\***を作る。夕方、銃剣術をやった。来る19日の日曜日の**銃剣術**に、選手として出場の予定だ。その稽古だ。今晚、**夜明山の防空隊**では、**夜間演習**をしていた。

- 17 日(金)：朝、作業にかかって間もなく、中隊よりの電話で、銃剣術の選手は午前中に中隊へ帰れとのことで、すぐに作業をやめて、ちょうど山を下る自動車で帰る。11 時、中隊着。午後 3 時頃、ちょっと練習。そのあと、試合の注意があつて終わる。久しぶりに中隊に宿る。ずいぶん暑かったのに驚く。
- 18 日(土)：今日は中隊は休日だった。朝の涼しいうち、ちょっと**銃剣術の練習**。あとは一日中休み。屋根が焼けて、舎内もずいぶん暑さがひどい。夕食後、入浴。早く寝た。
- 19 日(日)：今日は**父島の兵隊の銃剣術の競技大会**。選ばれて出る。午前 9 時、試合開始。暑さの真っ盛りを、午後の 1 時までよくやったと思われるほどの暑さだった。自分は幸いにも、**7 人抜いて中隊での最高点**らしかった。試合運が良いのだったか。帰りは良いあんばいに、自動車が あつたので、ずいぶん助かった。
- 20 日(月)：今日は、**第 3 回目の注射**を午前 9 時からやった。お天気は相変わらず良く、ずいぶん暑かったが、風がとても涼しく、注射後の舎内休養には楽な日であった。今度の注射は、割合に痛くなく楽であった。
- 21 日(火)：4 日休んで、5 日目の作業。相変わらず作井作業。暑さのため、ずいぶん骨が折れる。それでも、今度の作井作業は、水が出そうなので張合いがある作業だ。
- 22 日(水)：作業も進むにつれて、水が出てきて、大分やり難くなってきた。今日は珍しく、一日中曇天で、時々小雨があつた。本日午後、俸給をいただく。今度は大分俸給が良くなり、10 円 90 銭となった。ずいぶん大幅な上がり驚く。
- 23 日(木)：連絡船が入る入るといふ話だけで、毎日毎日待ちぼうけばかりで、ほんとにがっかりした。今日はまた作井作業。段々と深くなって、仕事がやり難くなってきた。夕食後、寝るまで暑いので、外で涼んでいた。今日は昼寝をしなかったので、今晚はよく寝られるだろう。
- 24 日(金)：今月の**月例身体検査**のために、今日は作業をやめて、全員中隊へ帰る。お天気は相変わらず良く、中々暑かった。早昼を中隊において済まして大村へ。**第四砲台**に、材料引取りの現場を見に行き、帰りは自動車で帰る。
- 25 日(土)：珍しく、今日は一日中曇りがちな、割合涼しいお天気。時々小雨があつた。今日は朝のうち、1 時間半ばかり仕事をして、9 時より**第 4 回目の注射**をした。これで注射も終わってほっとした。午後 4 時、**山へ魚釣りの竹を取り**に行く。
- 26 日(日)：嵐が来るとの予報があつたが、今日は良いあんばいに何もなく、静かな日であった。今日は外出できる日曜日であつたので、乳頭山の下に、魚釣りに行く。かなり暑かったが、かなり面白い釣りができた。夕食前、洗濯をした。
- 27 日(月)：昨日の魚釣りで、今日は体が痛む。仕事をするにも、何となくだるくて仕方がなかった。今日はまた作井作業。今日は爆破をやった。午後は例によって休み。今日、**小隊長と軍医**が来た。夜、若干頭が痛む。
- 28 日(火)：今日は、**大村第四砲台**に、材料取りのために**斎藤、横山両君**と 3 人で行く。ほかに**使役兵 7 名**が来た。一生懸命やって、やっと午前中に終わる。午後は少し休んで、自動車で帰る。久しぶりに手紙をいただく。家から何にも来らずがっかりした。来るべき小包がどうしたのか来らず、これもおかしい。2、3 日のうちにまた船が入るとのことだ。それを待つより他はない。
- 29 日(水)：昨夜冷やしたか、今朝は腹具合が悪くて仕事ができず、10 時頃、作業を仕舞って帰る。一日中ほとんど寝ていた。午前中に**小隊長殿**が来られた。中隊より**測量の兵隊が 5 名**。昨日来て食事が一緒なので、ずいぶん混雑している。
- 30 日(木)：待望の**芝園丸が入港**した。船が入ると、いろんなデマがしきりに飛ぶ。今度こそは、小包が家から来るだろう。今日もまた一日中休みで、舎内にて休ませていただく。お天気は相変わらずよく、中々暑い。明日、書簡を取りに、役便が出るだろう。
- 31 日(金)：相変わらずの好天気。今日は一日元気に作井作業に、汗だくだった。今日は**東部隊より使役 2 人**取る。午後は昼寝をしないで、洗濯をした。待ちに待った時計の小包も、とうとう来らずにがっかりした。家へ問い合わせの手紙を書いた。いよいよ 7 月も終わる。

## 昭和17年8月

- 1日(土): 盛夏 8 月。内地もずいぶん暑いことだろう。作業は相変わらず作井作業だった。今日は中隊は休みなので、珍しく柄津が遊びに来た。明日は日曜日で休みなので、釣りに行く予定で、午後は準備をした。家より便りが来ないのは、ほんとに残念だった。なんだか忘れ物をしたような気がする。
- 2日(日): 8月の第1日曜。今日も一日中好天気で、中々暑さがひどかった。例によってまた乳頭山の下へ魚釣りに行く。今日は香川隊の兵隊も加わって、大分大勢であったが、魚釣りのほうは駄目だった。
- 3日(月): 昨日の魚釣りで疲れていたのので、今日は作業がちと骨が折れた。作井作業も大分はかが行き、湧水も大分成績がよさそう。川上司令官が榮転されるので、そのご挨拶に、今日夜明山に来られた。
- 4日(火): 何 10 年来の日照りとか、ここ幾 10 日も雨らしい雨は降らず、毎日毎日南国特有の太陽が、頭から焼き付くような強烈な光を投げている。今日もまた作井作業。ほんとに暑さに参ってしまった。夕方、久しぶりにお湯に入り汗を流す。体が疲れていて、だるくて仕方がない。
- 5日(水): 作井作業も、日 1 日と目立ってできていく。今日もまた使役兵が 4 名来た。午前中爆破して、午後は相変わらず休み。横山君と魚釣りの竿を取りに入って、昼寝はしなかった。川上大佐もこの司令官を交代して、今日の夕方、芝園丸に乗り込んだとのこと。第二隊長・益田伍長も召集解除になったので、今夕芝園丸に乗り込んだ。芝園丸も、今夕か明日は出帆するらしい。
- 6日(木): 連絡船・芝園丸は昨夕出帆したとのこと。今日もまた一日中かんかん照りの暑い日。朝のうち爆破をして、午前中作業。午後は例によって休み。山へ入って、魚釣りの竿を取りに行く。暇があるので、継竿を作り始めた。よくできれば良いが。
- 7日(金): 東隊より使役を取り始めてからは、我々にも大分楽ができるようになった。今日もまた一日中、作井作業。10 時までになって、珍しく雨が降り始めたので、作業途中で帰る。今日も爆破をした。午後には幾ヶ月ぶり、かなりの夕立があった。生きとし生けるものは、皆大喜びだ。
- 8日(土): 珍しく一日中雨のために休み。疲れた体もよく休められた。今日は第 8 回目の大詔奉戴日のこととて、香川中隊において遥拝式を行う。午後は明日の魚釣りに行く準備をした。夕立雨も上がり、明日は晴天だろう。
- 9日(日): 好天気の日曜を迎えて、元気に横山君と 2 人で、大村の隣浜へ魚釣りに行く。海が荒れていて波が高く、良い釣り日和ではなかったが、それでも釣りの方は割合に面白く遊ぶことができた。帰りは良いあんばいに、自動車に乗れたので、ほんとに助かった。ソロモン海戦でものすごい戦果を上げたとのこと。前線の兵隊さんはほんとに御苦労様。我々も負けぬよう、ますます頑張っていかなければならない。
- 10日(月): 夜明山東部隊へ、給水作業のために出張して、早くも満 2 ヶ月になる。作井作業も、目立って進み、水も割合に出るらしく、ちと張合いのある作業だ。お天気は相変わらず上々。暑さも中々厳しい。午後、久しぶりに入浴した。
- 11日(火): 暑さのために、夜中に眠れず、朝は中々辛い。使役も出て、相変わらず作井。午前中、増子准尉殿が来られた。そして大分良いニュースを持って来たらしい。実現されれば嬉しいが。
- 12日(水): 今朝 8 時過ぎに、またまた警戒警報に入る。大分久しぶりだった。作業は相変わらず作井。警戒警報中は、東隊よりは使役なく、今日は工兵だけの作業。午後は例によってまた休養。暑さ厳しく、お天気良し。
- 13日(木): 海軍の連絡船が入港して、懐かしい便りを持ってきてくれた。家から久しぶりに手紙が来て、ひと安心した。朝のうち、1 時間ばかり仕事をして、それから郵便物受領のために大村に行く。すでに遅く、郵便物は中隊へ行っていたので、中隊へ暑い中を徒歩で帰る。
- 14日(金): 今日もまた使役なしで作井作業。岩盤が硬いので、かなり骨が折れる。湧水はかなりあるので、ほんとに有難い。今朝、警戒警報が解除になったとのこと。
- 15日(土): 東隊より使役 2 人出て、相変わらず作井作業。暑さはものすごいものだ。午後は幾らか曇って、幾分涼しくなった。谷川で体洗いの時に洗濯をしてきた。明日は日曜で、また魚釣りに行く予定で、いろいろと準備をした。

- 16 日(日) : お天気よく、相変わらずの暑さであったが、今日は予定通りの魚釣りに行った。今日は一日中風があったので、波が高く、釣りにはあまり良い日ではなかった。帰りも割合に早く帰る。疲れたので、今晚はよく寝られることだろう。この所、朝夕は大分涼しい。
- 17 日(月) : **連絡船・芝園丸が今朝入港**した。今度は割合に早く来たのだ。作業はまた作井作業。東隊より兵 4 名援助に来た。珍しく隊長殿が来られた。そしてすぐに帰る。午後は例のごとく休みだ。風通しの良い所で 1 時間ばかり昼寝をした。今日もまた風があるから、夜分は涼しいだろう。
- 18 日(火) : 応召して早くも満 11 ヶ月目の日が来た。大した変化なく過ぎてしまった。作業は相変わらず作井。援助 3 名で午前中だけ。午後は、**第三トンネルの海へ釣り**に行ったがだめで、早目に帰る。**家と純より手紙**が来た。**純もいよいよ転業**したとのことだ。
- 19 日(水) : 天気良く、暑気厳しい。作井作業も大分進み、あと 1 週間ばかりだ。今日もまた東隊より援助 2 名。夕食後、**大村に慰問団の演芸**を見に行く。久しぶりのこととて、大分面白かった。帰りは遅く 12 時頃。ずいぶん疲れた。
- 20 日(木) : 薄曇りの蒸し暑い日。作井作業も終了に近い。昨晚の疲れで、今日は大分骨が折れる。午後、**水汲みの自動車**にて、大村にハツリ鑿をなおしに行ったので、昼寝ができなかった。夕食後、**香川隊の山の下の入浴場**に行く。久しぶりにかなり良いお湯に入った。昼寝をしないので、今晚はよく寝られることと思う。
- 21 日(金) : 今日は材料を自動車にて、大村まで持って行くので、作業は中止。午前中に 1 回運搬して、午後また 1 回で、全部運搬終わり。今日、俸給をいただく。夕食後、入浴。夕立雨が若干あって、大分涼しくなった。
- 22 日(土) : 風もなく、蒸し暑い日であった。今日は井戸杵のきざみをやった。朝のうちは鋸の目立てをした。午後は相変わらず休み。今日、お昼の時に、珍しく**司令部勤務の佐久間君**が来た。明日はまた釣りの予定で準備をした。点呼を取ってから、すぐに寝た。
- 23 日(日) : 好天気の日曜日。同行 6 人にて、乳頭山の下に魚釣りに行った。お天気は良かったが、風が強くと波が高かったので、あまり魚は釣れなかった。それでもずいぶん面白い釣りができた。
- 24 日(月) : 珍しく朝雨が降って、1 時間ばかり作業に行くのが遅くなった。荒れ気味の強風が終日吹いていて、かなり悪い日であった。一日中、木工仕事。夜は**暴風警報**が出たとのことだ。夜に入って風は出た。嵐にならなければ良いが。
- 25 日(火) : 一晩中吹きまくった強風は、今日も一日中は少しも衰えず吹いていた。それでも雨が一緒に降らないので、大したことはなかった。夕方になって、幾らか風もやんで、静かになったが、すっかり曇ってしまったので、今度は雨か？
- 26 日(水) : 薄曇りで、雨が降りそうな空模様であったが、それでもどうやら一日中降りもせずに持ちこたえた。風が相変わらず吹いていたが、大したことはなかった。午後は同行 5 名にて乳頭山の下へ魚釣りに行く。波が高く、思うようではなかったが、それでも割合によく連れたほうだった。夕食後、入浴した。
- 27 日(木) : 今日は今月の**月例検査**のために、作業をやめて、全員中隊に帰る。月例検査のあと、**洲崎飛行場**に行き、**体力検査**をやる。帰りは良いあんばいに自動車にて帰る。
- 28 日(金) : 今日も一日中、作井の木工仕事。お天気良く、暑さはかなり。強い風が相当に吹いていたので、木陰は大変に涼しかった。午後は例の場所に魚釣りに行く。波が少なく、割合に面白い釣りができた。
- 29 日(土) : 相変わらず好天気であった。作業は作井の木工仕事。今日は洗濯場をやった。残り少なくなった 8 月も、涼しい風が吹いて大分しのぎ良くなった。釣り道具をこしらえて、あすの釣り準備をした。
- 30 日(日) : 今月最後の日曜日。同行 4 人揃って、乳頭山の下へ魚釣りに行く。お天気悪く、波が高く、どうにもならず、あまり面白い釣りができなかった。早めに帰り、入浴して休む。
- 31 日(月) : 8 月もようやく終わる。ここしばらく、大分涼しいので、夏が去ったような気がする。帰るがえるこの頃は、またものすごいものだ。作業は作井の洗濯台作り。まだできない。**午後の休みも今日限り**。ゆっくり休む。2 時頃、洗濯に行く。

## 昭和17年9月

- 1日(火): 思い出は遠く、20年前の今日、関東大震災。痛ましい。思い出はそれからそれへと。今日もまた作井場の洗濯場作り。今日より午後の休みはなくなって、一日作業となる。近頃に珍しく、相当の暑さであった。
- 2日(水): 今月に入って、暑さがまた盛り返したようだ。ここ毎日毎日、焼き付くようなお天気が続いている。今日は洗濯場ができ上がった。午後は、最初の井戸の屋根にかかる。明日は大体において、出来上がる予定なり。
- 3日(木): 相変わらずの好天気。第二次作井作業も、約2ヶ月(始業7月13日)で完成した。横山君と2人で、上の井戸の屋根をやった。一日中、日中でずいぶん暑く、幾らか暑気に当てられたか、頭が重い。今朝、海軍の艦が入港したとのことだ。懐かしい郵便は?
- 4日(金): 第二次作井作業もようやく終わる。今日からは香川隊の入浴場のダムの作業にかかる。作井作業場の後片付けを済まし、新作業場の経始をして、早仕舞いをして休養した。桧井田君より便り来る。弟・又雄はスマトラにいるとのことだ。
- 5日(土): 今日から食事当番。1名が舎内監視を兼ねて残ることになった。その第1番を俺がやる。午前中、芝園丸が入港したとのことだ。今度は家から手紙が来るだろう。
- 6日(日): 今日は日曜。待ちに待った今日。みなで揃って、乳頭山の下へ魚釣りに行く。何も楽しみのないここでは、魚釣りが最大の慰安だ。今日は珍しく海は静かで、波も思う存分楽しむことができた。乳頭山へ釣りに行き始めて、今日が一番大漁だった。午後は釣りをやらずに、早目に帰る。
- 7日(月): 今日はまた作業。さる5日より始まった、香川隊入浴場のダム工事も、援助兵10名来て、大いに進んでいる。先月、内地に帰られた小隊長殿が、昨日帰られて、今日作業場に來られた。待ちに待った家からの小包が、今日来た。思いがけなく、時計も来て大助かり。小包安着の返事を書く。
- 8日(火): 相変わらずの好天気。作業はまたまたダム工事。援助兵も来たが、作業が作業なので、あまりに出来なかったが、ずいぶん骨が折れた。今日は大詔奉戴日。午前7時、香川隊の陣地に集合。遥拝式を行う。式後、香川隊長の時局話があり、大いに参考になった。
- 9日(水): 作業はダム。援助兵は9名。朝から裸で水の中の作業で、体中泥だらけで大変だった。お天気良く、ずいぶん暑い日であった。
- 10日(木): 夜明山東部隊へ出張して以来、早くも満3ヶ月になってしまった。作業は相変わらずダム。午前中に石涯を積み始めた。夕食後、入浴、そのあと、香川隊の夜間演習を見に行く。
- 11日(金): 一日中、ダムの石涯積み。初めてのことで、中々うまくできないのに困る。力仕事のことだから、ずいぶん体にこたえる。9月もいよいよ中旬だ。昼間は相当に暑かったが、夜分は大分涼しくなった。今1週間ばかりで、中隊へ帰る予定らしい。
- 12日(土): 今日もまた香川隊入浴場のダム作業。相変わらず援助兵10名来た。午後は作業を中止して休む。明日の日曜を休むことができないので、今日はその代わりだった。夕方、停電がしばらく、電気がつかず真暗だった。日夕点呼後、すぐに寝た。
- 13日(日): 日曜でもゆっくりと休むことができず、今日は中隊へ血液検査に行く。午前中に検査が終わってしまったが、お昼過ぎまで中隊にいた。帰りは、中隊より大村に回る自動車がなく、徒歩で帰る。夕食後、疲れていたので早く寝た。今日、懐かしい便りを持ってきてくれた。家から久しぶりに手紙が来て、ひと安心した。朝のうち司令官と中隊へ補充兵が10名来た。
- 14日(月): 今日はまた一日香川隊のダム作業。相も変わらず石涯積みだった。今日から、第四分隊が全員援助に來た。そして石出しをやってくれた。夜に入って雨が降り、大分涼しくなった。
- 15日(火): 久しぶりに、今日は中隊へ連絡に行く。午前7時出発。徒歩にて行く。帰りは大村に回って、買い物をして自動車で帰る。今日は大分暑さが厳しかった。森部隊もいよいよ今晚、船に乗り込んだらしい。
- 16日(水): 今日もまた香川隊へ入浴場のダム作業。朝、作業始めに爆破して、一日中石削りをやった。割合に涼しいお天気だった。内地では、もう朝夕は薄ら寒い頃となったことだろう。
- 17日(木): ダムの石涯積みに一日中働いた。足が痛いので、思うように作業が出来なかった。夕食後、久しぶりに入浴。ずいぶんさっぱりした。今日午前、この隊では、第2回目の帰還者が隊を出て行った。今日、宿舎の移動。

- 18 日(金)：珍しく昨夜大雨があった。雨はほんとに有難いが、道が悪くなったので、ほんとに困る。午前中、作業に出たが、足があまりに痛むので、午後は休み。お天気悪く、分隊も休んだ。
- 19 日(土)：一晩中嵐気味の風が、かなりの風速で吹きまくっていた。時々雨も混じっていた。足の傷がとうとう腫れて、今日は診断を受ける。そして**連兵休**だ。一日中静かに寝ていた。嵐気味の風は、一日中吹いていた。
- 20 日(日)：**動員完結満1周年記念日**。思い起こす去年の今日、早いものだ。今日、日曜日でも外出できず。痛む足をもてあまして、一日中寝ていた。**完結記念で、隊からいろいろな加給品**があった。
- 21 日(月)：また盛り返した嵐模様の強風。それでもお天気は良く、蒸し暑かった。午前8時、診断を終わる。傷はまだ少しも良いほうには向かわない。相変わらず**連兵休**だった。
- 22 日(火)：足の傷のために、**連兵休**になって4日目になるが、少しも良いほうには向かわないらしい。相変わらず痛んで歩けない。午前中、やっとの思いで襦袢の洗濯をした。風はまだやまず、時々今にも降りそうな空模様になる。でも降らずに一日終わる。
- 23 日(水)：早くも9月は下旬期に入る。中秋の名月15日も、2、3日内だろう。ここ毎晩、ものすごい良いお月夜が続いている。月を見て内地を思うとき、たまらなく家が恋しい、満1ヵ年も過ぎた今日この頃。家でも、そろそろ冬を迎える準備に、忙しい日を送っていることだろう。相変わらず**連兵休**で、舎内に寝ていた。
- 24 日(木)：名月十五夜も、今晚とのこと。よく晴れた中空には、盆のような真丸なお月様が海の向こうから真っ赤に燃えながら、静かに上がってきた。内地で見る月も、ここで見る月も同じと思えば、そぞろ望郷の想いが募る。今日は**秋季皇霊祭**で休み。足も大分良くなり、楽になる。昨年の今日は、任地・小笠原に船が着いた日。**小笠原・父島に来て満1ヵ年**だ。
- 25 日(金)：今日は**新部隊長・武蔵野中尉殿の命下布達式**を、中隊で行われたので、全員儀式の軍装で出かけて行った。そして、午後3時頃、汗びっしょりになって帰ってきた。俺は相変わらず**連兵休**で、舎内で休んでいた。今晚はまたとても良いお月夜だった。南国のお月様は内地より明るいようだ。
- 26 日(土)：足も大分良くはなったが、まだ**連兵休**だ。一日、舎内に寝ていた。作業もいよいよ今日あたりで、大\*\*になるらしい。夕方になって、涼しくなったが、日中はかなり暑い日であった。
- 27 日(日)：何の船か知らないが、今朝**二見港**にかなりの船が2つ入った。手紙を持って来ていてくれば嬉しいが。お天気良く暑かった日曜日。珍しく午前中に洗濯と入浴。午後はゆっくりと休む。**斎藤君**は相変わらず魚釣りだ。今月もようやく残り少なくなった。
- 28 日(月)：良く晴れていたが、雲多い日であった。**新司令官・木村少将閣下**が始めて**夜明山の防空隊**へ来られた。そして午前中、**高射砲の実砲射撃**を閲して帰られた。午前中に、**芝園丸**が入港した。足の傷もほとんど治り、今日から就業になった。夜明山引き上げも間近く、作業も今日当たりが最後だろう。晩は**防空隊の夜間演習**を見学した。
- 29 日(火)：雲多い日。**高射砲**が一日中発砲していた。大分遅れた俸給を今日いただく。昨日の芝園丸で、**手紙が3枚(小熊・戸塚・小川純)**来た。今日もまた郵便物があったが、とうとう家からは来なかった。
- 30 日(水)：昨夜はかなりの雨が降ったので、今日は道が悪かった。今朝、食事番に出た。一日中どんよりと曇っていた。午後、分隊の皆は夜明山最後の魚釣りに、乳頭山に行った。いよいよ明朝は引き上げの予定で、好天気になりたいものだ。今日、午前中また**警戒警報**が発令された。

## 昭和 17 年 10 月

- 1 日(木): 珍しく一日中雨。今日は夜明山より中隊に移動の日。ほんとにあいにくのお天気だった。お天気を見ながら、とうとう午前中は夜明山にいた。雨もやみそうもないので、11 時半、夜明山を出る。途中、ずっと降られ通しで、ずぶ濡れで帰る。夕方、申告を済ませた。小隊に補充兵がいて、ずいぶん賑やかだ。約 110 日ぶりで中隊に寝た。
- 2 日(金): 珍しく一日中雨が降っていた。風さえまじえて、中々ものすごい吹き降りであった。午前中、武器被服の手入れをやった。夜に入ってなおやまず、明日のお天気はどうか分からない。
- 3 日(土): 今日は休養。朝のうちはまだ雨が降っていたが、のちには良くなり、とても良いお天気になった。午前中、洗濯をした。午後は手紙を書いて、ゆっくりと休む。
- 4 日(日): 良く晴れた日。分隊員 5 名は、東隊へ器材を受け取りに行く。俺は午前中、薪取りの使役。午後は扇浦より、器材の運搬をした。大分涼しくなったが、日中はまだまだ暑い日が照りつけている。
- 5 日(月): 久しぶりに大村に行く。司令部の鍛工場に器具を直しに、斎藤君と 2 人で昼食を持って行った。お天気良く、ずいぶん暑い日。午後 1 時間ばかり魚釣りをやる。駄目だった。
- 6 日(火): お天気良く、ずいぶん蒸し暑い日であった。午前中、武器被服の手入れ。午後は斎藤君と 2 人で、本部の木工使役に出る。事務室の箱作りだ。夕食後、入浴 1 番。他の隊では、またまた召集解除者があるとのこと。だが、工兵隊はどうしたのか。いまだに 1 回もない。本当に不思議だ。
- 7 日(水): 今日もまた木工使役に出る。一日中ほとんど削りもので、割合に疲れてしまった。お天気は相変わらず良く、ずいぶん暑い日であった。夕食後、夕立気味の雨があったので、大分涼しくなった。
- 8 日(木): 第 10 回目の大詔奉戴日。日朝点呼、同時奉読式を行う。今日もまた一日中、斎藤君と 2 人で、本部木工使役を、三小隊兵舎内でやった。木工道具が少なく、ほんとにやりづらい。お天気良く、暑さは中々厳しい。秋も中旬だ。早く涼しくなって欲しい。
- 9 日(金): 今日から經理の使役に 1 人で行く。名札作りの木工使役。分隊員は砂利運搬。お天気は相変わらず良いが、さすがに 10 月。この常夏の島にも、そろそろ秋が訪れたような陽気になった。内地は朝晩は寒いだらう。
- 10 日(土): 今日もまた經理室の木工使役に出る。一日中、名札や他のものを作って暮らす。お天気は曇り時々晴れで、割合涼しかった。あすは初の衛兵司令に服すので、今晚は服務計画を作るのに、寝るのが大分遅れた。
- 11 日(日): 久々の衛兵が、日曜勤務なので、いささかくさった。それに朝より雨がかなり降っていたので、ほんとにまいった。無事に昼間の衛兵も終わり、夜も次第に更けて行く。
- 12 日(月): 第 13 回目の衛兵勤務も無事に明けた。司令のこととて、何となく今までより疲れたような気がする。お天気良く、中々陽気が良くなった。午前中、休養。午後は珍しく小隊の作業に出た。営庭に敷く砂利運搬をした。夕食後、入浴 1 番。
- 13 日(火): 降雨期に入ったか、今日もまた雨。午前中は一時やんだが、また降り始めて、とうとう一日中降っていた。午前 10 時より武器の検査があった。午後は休養。夜に入ってもまだ雨はやまず、明日のお天気も分からない。
- 14 日(水): 今日もまた經理室の使役に出た。午前中に扇浦まで材料を取りに行く。午後は二分隊の鈴木君と 2 人で、炊事の柵作りをやった。お天気良く、気持ちの良い秋日和。
- 15 日(木): 今日は靖国神社の発令で、遥拝式があるはずであったが、取りやめになって、また一日中作業をした。斎藤君と 2 人で相変わらず經理室の使役で、炊事の柵作り。お天気良く、大分涼しかった。
- 16 日(金): 靖国神社臨時大祭にあたり、遥拝式で、渡辺少尉の指揮にて、午前 10 時 15 分全員営庭にて行う。本日休養。お昼ご飯を済ませて、久しぶりに小港に魚釣りに行く。お天気良く、静かな日であったが、釣りの方は駄目であった。夜に入って、雨が降ってきた。
- 17 日(土): 曇りがちなお天気であった。新嘗祭で、午前 10 時より営庭で式があって、今日はまた休み。午後、久しぶりに書簡をいただく。家からも来た。皆変わりないとのこと。ほんとに有難い。

- 18 日(日) : 久しぶりに乳頭山の下へ魚釣りに行く。朝外出に先立って、隊長殿のお話があったので、外出が大分遅れてしまった。思いがけなく大きな波があったので、釣りにならず、とうとう駄目でほんとに残念であった。今晚は疲れているので、よく寝られるだろう。
- 19 日(月) : 今日は久しぶりの作業に出た。相変わらず木工使役で、今日は小隊の背のうの箱を作る。午後は人名表。ずいぶん忙しい一日であった。時々雨の降る、蒸し暑い日。手紙の返事を書く。
- 20 日(火) : 雨期に入ってから、時々雨が降る。昨夜より降り出した雨は、とうとう今日作業を休みにさせた。午前中、舎内の掃除・整頓。午後 2 時より**小隊長の検査**があって、今日の行事は終わる。どんより曇っている空は、まだ降り足りないようだ。馬鹿に寒い涼風が吹いていた。
- 21 日(水) : 司令官閣下の初度巡視も明日に迫り、今日は全員忙しく営内作業。午後 3 時までやって、ようやくでき上がった。営内外、見違えるほど綺麗になった。あとは自分の整頓をやる。
- 22 日(木) : **新木村要塞司令官の初度巡視**の当日。午前 8 時半、儀式の場合の**軍装**にて、営内に集合。9 時半、若干遅れて司令官閣下、来隊、訓示あり。午前 10 時、無事に終わる。あと休養なり。お天気よく、大分涼しかった。夕方、久しぶりにキャッチボールをやった。
- 23 日(金) : **靖国神社例大祭**で休み。朝のうち、ちょっと降っていたが、のちには大分良いお天気になった。待機分隊のこととて、外出もできず、ほんとにつまらない。夕方、キャッチボールをやった。
- 24 日(土) : 朝のうち、雨が降っていたので、今日もまた雨かと思っていたら、8 時頃雨はやんで、良いお天気になる。中隊全員、薪取りの使役であった。明日の日曜は、例によって魚釣りに行く予定だ。
- 25 日(日) : 夜明がたに降り出した雨は、明るくなっても益々ものすごく降っていたので、今日の日曜は駄目になるのかと思っていたら、それでも 8 時頃はどうやら上がった。7 時より**月例身体検査**があった。体重も幾らか増した。例によって魚釣りに行く。**陸軍病院のところ**に行ったが、とうとう今日はあぶれになった。そして帰りには雨に降られた。泣きっ面に蜂だった。
- 26 日(月) : 今日もまた雨風さえまじえての吹き降り、作業にも出られず、今日もとうとう休み。午前中、**隊長殿の学課**あった。夕方になって、雨もどうやら上がる。明日はお天気であろう。
- 27 日(火) : 今日からいよいよ**中隊作業**で、三日月山へ道路構築。午前 6 時、集合で行く。お天気よく、ずいぶん暑かった。今朝、**芝園丸**で、**前隊長が帰られた**。疲れて帰ったのが 5 時。
- 28 日(水) : 今日は久しぶりに経理の使役で、糧秣の使役。午前中はほとんど遊びになった。今まで良かったお天気が、急に悪くなり、ものすごい雨になったので、帰りは大分濡れてしまった。三日月山の道路作業人員も、雨のために早仕舞。午後はその作業人員に、雨具を持って大村まで行く。今日はほんとによく濡れた。
- 29 日(木) : 日朝点呼のときに、小雨が降っていたので、作業に行くのを幾らか見合わせたか、間もなく全員作業に出かけた。今日もまた三日月山の道路作業。午後はどうとう雨が降ってきて駄目。午後 3 時半、兵舎に帰る。風邪気味で入浴をやめて、薬を飲んで寝た。
- 30 日(金) : 珍しく好天気になった。相変わらず中隊の道路作業。昨日の雨で、ずいぶん路が悪くて、骨が折れた。今日は一日中、隊長殿が作業にいられた。今晚は**大村の学校に演芸**があったが、風邪気味であったので見ないで帰る。帰りに**酒保品の運搬**があつたので、中隊へ帰ってきたのが、大分遅くなった。夕食、入浴と済ませて、薬を飲んですぐに寝た。今晚の**会報**で、来週は**週番下士**とのことだ。初めてだ。一生懸命に勤めるように気をつけよう。
- 31 日(土) : いよいよ今月も終わりにになった。作業は相変わらず三日月山に道路作業。全線、大分道路らしくなった。帰りは今日は順調だった。夕食後、週番下士勤務申し受け。初めてのことで、大分忙しかった。

## 昭和17年11月

- 1日(日):晴天。まれなる晴天。雲ひとつない絶好の日和。日曜のこととて兵隊は大喜びだ。今朝、**起床1時間延びた**。点呼後、**隊長殿のお話**があった。8時、外出者が出た。忙しい日中が終わって、外出者も全部帰る。夕食後、明日の人員を調べた。
- 2日(月):曇りのち晴れ。作業人員が出発して、間もなく雨が降り出したので、一時出かけるのを見合わせて全員帰ってきたが、間もなく雨も上がったので、また出かけた。のちに大分良いお天気になり、大分暑くなった。糧秣の使役人員は、今日、大分骨を折ったらしい。
- 3日(火):今日は**明治の佳節で休み**。午前10時、営庭にて**遥拝式**を行う。そのあと外出。週番も一時はずいぶん忙しかった。午後、入浴。そのあと、洗濯。少しぶりにさっぱりした。お偉い方がみな出かけたあとで、割合にゆっくりできた。
- 4日(水):秋らしい陽気の好天気。週番も仕事に慣れて、大分やり良くなったが、なんにしても用事がたくさんあって、ずいぶん疲れる。それに幾分風邪気味なので、頭が痛む。今晚は早く寝たいものだ。
- 5日(木):お天気良く、気持ちの良い日が来た。今朝7時、**隊長殿は母島に出張**のために出かけた。仕事が盛山で、とても疲れた。早く週番も変わりたいものだ。
- 6日(金):絶好本格的な秋日和だが、日中はまだまだかなり暑い。隊長が母島に出張しているので、割合に気分が楽だ。週番もあと1日だ。無事に終わりたいものだ。
- 7日(土):長かった週番勤務もようやく終わった。昼のうちに大分暇があったので、大体申し送りの準備ができた。風邪気味か、頭が重い。夕食後、異状なく申し送って帰る。久しぶりに自分の体になった。今朝、**芝園丸が入港**したが、手紙はなし。
- 8日(日):明番外出で、今日は**遠藤君**と2人で**隣浜**へ魚釣りに行く。魚は大分よく釣れたが、お昼も食べられずにごっかりした。本日、小包を家に送るべく準備をした。
- 9日(月):常夏の国にも、ようやく秋が来たらしい。日中はまだ中々暑い、夜はさすがに涼しく、どうかすると、ちと寒いことさえある。今日もまた三日月山へ道路作業に行く。久しぶりのこととて、ずいぶん疲れた。
- 10日(火):作業は三日月山の道路作業。薄曇りのお天気で、割合に涼しい日であった。珍しく**東ちゃんより雑誌**が来た。**厚君より、大塚君戦死の通知**を受けた。ほんとに驚くとともに、誠に悲しいことだ。元気だったあの日のことが思い出されて仕方がない。
- 11日(水):朝のうち曇っていたが、雨が降るかと思っていたら、のちに大分良いお天気になった。しばらくお天気が続いたので、雨が欲しくなってきた。作業が中々大変なので、近頃は**大分疲れてきた**。
- 12日(木):降るかと思っただけのお天気も、また持ち直して、今日も一日中秋晴れの良いお天気になった。一日中、三日月山の道路作業。作業が続いたので、ずいぶん疲れた。夕食後、洗濯をした。昨日、**隊長が母島より帰る**。
- 13日(金):幾分荒れ気味の風が吹いていて、雨が降り出しそうな空模様であったが、また一日中お天気が持ちこたえた。道路も大分出来上がってきた。あと幾日も出ずして、立派な道路になるだろう。
- 14日(土):今日から作業の往復にも**上衣を着用**することになった。まだまだ日中はかなり暑い。今日もまた道路作業だ。今日は自動車を使って石の運搬をした。明日は日曜で、釣りの予定だ。
- 15日(日):朝のうちはお天気が良かったので、元気よく魚釣りに出かけた。**隣浜**でやったが、今日は全然駄目だった。11時頃、雨が降り出したので、酒保に寄って帰る。ずいぶん張合いのない日曜日であった。
- 16日(月):朝のうちはお天気がちと変だったので、作業に行くのに雨具を持っていったが、のちに大分良いお天気になった。一日中畚(もっこ)をかかす。慣れない仕事でずいぶん疲れた。
- 17日(火):一日中雨の時々降る気分の悪い日。午前中かなりの雨が降ったので、一時は駄目になるかと思ったら、また雲が切れたので、一日中とうとう仕事をしてしまった。帰りは滑って大分歩きづらかった。毎日の山の作業で大分疲れる。
- 18日(水):秋らしい涼風が立って、今日もまた一日中好天気。相変わらず山にて作業。道路作業も大分出来て、あと1日か2日というところだ。

- 19 日(木)：秋晴れの気持ちの良いお天気。今日は珍しく**隊長殿**が引率をしていく。道路も今日で終わり。明日は薪運搬の予定。帰ってきたら手紙が来ていた。**塩沢、萬一郎**兄と、珍しく**瑞江**君より初便りが来た。
- 20 日(金)：今日から営内において**兵舎構築作業**を始めた。今日は**横山**君と 2 人だった。一日中土台棧桁等の墨付けをした。お天気もよく申し分のない秋晴れのお天気。三日月山の道路作業もようやく今日で終わる。入浴 1 番。早く寝た。
- 21 日(土)：道路作業も終わりになったので、今日のはかねてのとおり、**慰労休暇を実施**で、今日は休養。お天気が良かったので、午前中洗濯をした。午後は久しぶりに**パイプ**作りで、日を暮らす。日夕点呼後、軍医に差し上げた。
- 22 日(日)：朝よりどんより曇っていて、今にも降り出しそうなお天気であった。今日の日曜は珍しくも、全員外出ができた。そして**大村の国民学校に運動会**を見に行っていたが、惜しくも途中より雨に降られて駄目になったので帰ってくるが、とうとうびしょ濡れになってしまった。ほんとにがっかりした日曜日だった。夜に入って、雨は上がる。明日のお天気は？
- 23 日(月)：今日は**祭日**で休養。外出はあったがのだが、昨夜**警戒警報が発令**せられて、外出取りやめ。終日、雨が降っていた。午前中、兵舎の\*\*図を引く。夜に入って、雨は上がる。大分良いお月夜になった。
- 24 日(火)：今日は**月例身体検査**で、作業はなし。体重も幾分増えたようだ。午後、連珠谷の兵舎まで、材料を見に行つた。中隊では、**扇浦まで全員、軍歌演習**に行つた。今朝、**芝園丸**が入港した。明日は懐かしい便りがいただけるだろう。
- 25 日(水)：お天気良く、気持ちの良い秋晴れの日。4 日休養して今日はまた作業。**横山、斎藤**君と俺とで 3 人でやった。今日は**ずいぶん**仕事もできた。午後、家からの便りが来た。**東吾**より**送金がなくなった**とのことだ。
- 26 日(木)：朝のうち大変に良いお天気であったが、のちに大分悪くなり、すっかり曇ってきて、時々雨が降ってきて、出たり入ったりしてほんとに仕事のやりにくい日であった。今日から基礎にかかる。お天気が悪いためにいくら出来上がらなかった。夕方、**連珠谷に合掌**を取りに行ってきた。道が悪いので、大変であった。今晚は**酒保品が驚くほどたくさん渡された**。
- 27 日(金)：今日もまた昨日と同じような、曇り時々雨というお天気であった。1 日の中で 3・4 回小雨のために出たり入ったりした。それでも、土台を据えて、柱を立てこみ、建前の準備をして仕舞つた。
- 28 日(土)：今日もまた曇り日であったが、良いあんばいに降らずに一日済ませた。午前 10 時まで**建前**終わり。鳶はそれで作業やめにして帰る。釘が間に合わず、野地をやりかけ、午後は床にかかる。**小隊は明日出張**で、今日は準備で休みだった。
- 29 日(日)：今朝、**小隊全員巽崎へ出張**す。自分は兵舎構築中について残留となる。相変わらず 3 名。朝のうち生子板にて屋根をふさぐ。午後は床と内\*入れと間柱入れとに別れてやった。大分できた。夕食後、入浴。久しぶりにゆっくりと入浴できた。
- 30 日(月)：ようやく 11 月も終わる。いよいよ明日からは師走だ。東京も**ずいぶん**寒いことだろう。今日も営内にて、兵舎の構築作業をなす。早く仕上げるつもりでやっているのだから、中々疲れる。内\*を入れてから間柱を入れをやって、今日できた。明日は下見張りか。

## 昭和 17 年 12 月

- 1 日(火)：昭和 17 年いよいよ今月で終わりになる。思えば早いものだ。今日から**第一小隊**より**小林精次**君が援助に来た。他のものは相変わらず。建具の枠ができ上がり、下見が半分ばかりできた。お天気は相変わらず良く、中々暑かった。
- 2 日(水)：気持ちの良い秋日和に一日終わる。相変わらず木工作业。今日、外回りができ上がった。明日はいよいよ内の内だ。早く仕上げて、少しは楽をしたいものだ。作業を仕舞ってから、**扇浦の学校に、村の活動**を見に行く。久しぶりに活動を見たので面白かった。遅くなったので、お湯にも入らず、床につく。

- 3日(木):朝のうちにわか雨が少しばかり来たが、そのあとは大分良いお天気になった。相変わらず兵舎構築作業に一日を終わる。段々疲れてきたので、早く仕上げたいものだ。入浴にゆっくり入り、床につく。
- 4日(金):今日もまた好天気で、一日中過ごせた。相変わらず本部木工で、兵舎の作業。大分出来上がってあと2日ばかりになった。今日は下土屋が出来上がった。それから窓と入り口の戸も大体において出来上がりだ。
- 5日(土):今日は**納めの水天宮**だ。東京にいれば出かけるところだ。一日中、好天気。兵舎も大体出来上がりになり、あと1日もやれば終わる予定なり。
- 6日(日):お天気良く、気持ちの良い秋晴れの日であった。いよいよ今日、兵舎も出来上がった。そう人工44人坪(2人4分弱)。一生懸命にやったので、ずいぶん早く出来上がったので、ほんとに嬉しい。いくらか早仕舞いをした。夕食、**隊長殿に報告**をした。明日からは事務所の改築をやる予定だ。
- 7日(月):兵舎も終わり、今日からいよいよ事務室の改築作業にかかる。一日でやる予定で、ずいぶん一生懸命にやったが、仕事がたくさんでどうにもやり切れず、外回りだけやった。今日はおしまいにした。それでも4時半までやった。ずいぶん疲れた。今日、本部人員は新兵舎に移転した。午前中に**石川伍長が連絡**に来た。
- 8日(火):**大東亜戦争開戦以来、満1ヶ月年の記念日**。日朝点呼4時、**奉読式**を行う。思えば感激のあの昨年の今日、よくも世界戦史にまれなる戦果を上げたものだ。感謝すべき皇軍の威か。午後、出張人員帰隊。自分達は今日もまた事務室の改築。懸命にやりようやく出来上がった。
- 9日(水):久しぶりに今日は**営内休養**であった。一日中降ったりやんだりの荒れ気味のお天気で、大分寒さが身にしみた。お天気が悪かったので、一日中床の中でゆっくりと休養ができた。本日、命令で**分隊長・石川氏が軍曹に進級**した。人のことでも、おめでたいことだ。
- 10日(木):雲多く、雨を思わしめる空模様であったが、良いあんばいに一日中降らなかった。今日から二分隊の**伊藤が手伝い**に来た。そして全員で床板削りをやった。久しぶりの削りもので、大分疲れた。夕食後、入浴。点呼後、すぐに寝た。
- 11日(金):一日中曇りで、雨でも降るのかと大変心配したのだが、良いあんばいに雨も降らずに、一日持ちこたえた。今日は**横山と2人**で事務室の床張り。かなり一生懸命にやって、ようやく出来上がった。
- 12日(土):今日もまた一日中曇天であったが、雨も降らずに一日終わる。午前中は事務室において古機の取り付け作業、及び棚つりをなし。午後は机の足の木取りをなした。今日、**廣沢が連絡**に来た。
- 13日(日):今日は日曜で休み。一日中小雨が降っていて、大分寒く、ずいぶんつまらない日曜日。**警戒警報中で外出はなし**。一日中ほとんど炊事で、**古澤君の煙草入れを作っていた**ので、あまり退屈はしなかったが、大分疲れてしまった。入浴に入り、早く寝た。
- 14日(月):朝のうちはどんよりとしたお天気で、のちになってとうとう雨になる。一日中ほとんど小雨が降っていた。今日もまた3人で机の仕事。ようやく段取りができただけだ。
- 15日(火):朝のうちは曇っていたが、のちとうとう雨になる。そして一日中かなりの雨が降っていた。**中隊は大村清瀬に道路作業**。木工は相変わらず事務機の製作作業。今日は5つ分の足の突きほりをやった。**伊藤君**が板の糊ハギをやった。
- 16日(水):久しぶりに迎えた好天気。ほんとに気持ちの良い秋晴れであった。作業は相変わらず机の製作。足や貫のきざみで、腰骨がずいぶん痛いのにまいった。
- 17日(木):曇り時々小雨といったお天気。一日中ぐずぐずした日で終わる。相変わらず営内木工作業。今日からいよいよ机の組立作業をやった。3尺が2つと、6尺が大体1つだけ出来上がった。援助として**第一小隊より池田兵長と坂巻君**が来た。割合に早くできそうだ。夜も時々雨が降る。
- 18日(金):珍しく晴天。気持ちの良い秋晴れのお天気だった。一日中机の製作作業をなし。今日は6尺2つと、3尺2つを事務室に持って行った。夕食後、入浴。早く寝た。今日、**石川軍曹**のところより、**立澤上等兵が連絡**に来た。
- 19日(土):一日中好天気。作業は相変わらず事務機作りの作業。大分できてきて、ほんとに嬉しい。早く終わらせていものだ。明日は日曜で、外出の予定。

- 20 日(日) : 楽しみにしていた日曜日も、冷たい風が一日中吹きまくり、大村行きの船も出ないので、外出取りやめにして、午前中に洗濯をして、午後は小港まで魚釣りに行った。寒いのと強風があったので駄目。早く帰って休みにした。夕食後、手紙を書く。
- 21 日(月) : **経理検査の準備**のために、中隊全員舎内において準備をしたが、木工手は出て机の作業を一日やった。懸命にやったので、引出しを除くほかは全部出来上がった。ほんとに重荷を降ろした思いがする。夕方、にわか雨がかなりの量を落とすとしていった。
- 22 日(火) : 今日は**東部軍の経理検査当日**。演習に行く予定で準備をしていたが、急に木工作业が出て、演習は取りやめになった。午前、中隊事務室で梶と机を直し、午後は裏山に行って待機した。
- 23 日(水) : ずいぶん久しぶりに**大村清瀬弾薬庫**に道路作業。お天気良く、気持ちの良い日であったが、ずいぶん疲れた。午後はお天気が悪くなったので、雨を心配しながら帰ってきたが、良いあんばいに降らずに、夜に入って降り始めた。入浴 1 番。
- 24 日(木) : 昨夜、降り出した雨は、風さえまじえてものすごく、相当な雨が降っていた。今朝一時小降りになったが、また降り出した。悪い空模様のために、演習取りやめになり、全員外出があったが、あまりお天気が悪いのでよしにした。一日中煙草入れを作っていた。中々良くできないのに平困した。
- 25 日(金) : 今日は**大正天皇祭で休養**で、待機分隊以外は外出ができた。三、四分隊は待機であった。一日中好天気であったが、昨日の雨で営庭はずいぶん道が悪かった。
- 26 日(土) : ずいぶん久しぶりの衛兵勤務。司令 1 歩哨 2 の 3 人の衛兵である。曇りながらも一日中雨はなく、割合に楽な陽気であった。夕食後、また**慰問袋**をいただく。**小石川の第二府立高女の慰問品**であった。消灯過ぎ、かなりの雨が降った。勤務も無事に夜も更けて行く。
- 27 日(日) : 本年最後の日曜日で、ほとんど全員外出。わずかに一小隊の一部が作業に行く。衛兵も無事に明けてほっとする。午前中、舎内に休養。午後、外出はしたけれども、波が高く、連絡船が出ず、大村にも行けぬのですぐに帰る。舎内で煙草入れを作って日を送る。
- 28 日(月) : **大村隧道と清瀬隧道とが防空構**になった。立派なものになったのに驚く。作業は相変わらず清瀬の弾薬庫の道路作業だ。本年いっぱいには仕上げるので、ずいぶん忙しい作業だ。一日中石鑿を持って、石をかいていた。往復ともに西風が強く、二見港もずいぶん波が高かった。夕食後、少し頭が痛むので、早くからゆっくりと休む。
- 29 日(火) : 昨夜、風邪をひいか、今朝起きるのに困るほど苦しかったが、それでも元気を出して作業に行く。9 時頃まで作業をしたが、どうしても駄目なので、山の内に入って帰りまで休んでいた。帰ってからは、点呼も取らずに寝てしまった。明日治れば良いが、かなり苦しい晩であった。
- 30 日(水) : 本年も余す所、今日と明日だけになった。思えば早いものだ。体も大分楽になったが、今日は自重して、小隊長殿に話をして休ませていただいた。一日中床の中にいたので、ほとんど良くなった。この分ならば、明日は起きられそうだ。今日午後、**石川軍曹以下 6 名、巽崎の出張より帰ってきた**。そしてみな元気であった。
- 31 日(木) : いよいよ昭和 17 年も今日で終わりになった。一日中ほとんど使役で終わる。朝 6 時半集合で、連珠谷へ薪取りに行く。帰って午前中、舎内外の掃除と、今年分の洗濯物をしていった。午後は営庭の掃除と、薪片付けをやった。午前中はお天気良く晴れていたが、午後はどんよりとして曇って、時々雨が降ってきた。舎内も見違えるように綺麗になった。去るこの過ぎし満 1 カ年を省み様、大小様々なことがあったが、大東亜戦争も、着々とその戦果を上げつつ、敵を次第に追い込めつつ、確実な足場を作りつつあるが、前途なお遠慮であろう。帰還とのデマが一年中ほとんど言われていたが、とうとう一度もものにならずにしまった。ここ小笠原島も段々と施設が整い、我々のほうも種々の点、ほんとに楽になった。ほんとに喜ばしことだった。
- 9 月に入り、**八\*部隊長が帰られて、武蔵野中尉、新たに隊長**となる。そして作業は日を追って猛烈になり、かなり苦しい長い月日であった。留守の方は、有難いことに何の変わりもないとのこと。長らく戦地にいた**弟・又雄も無事に帰還した**とのこと。**満州の弟もこれまた元気。東ちゃんも元気**で、変わりなし。**親友・戸塚君戦病死**は惜しみても、余りあるものだ。銃後も、益々堅き加えつつ、この 17 年も無事に暮れて行く。

## <昭和 18 年>

### 昭和 18 年 1 月

- 1 日(金)：一昨年 9 月召集を受けてより、第 2 回目の軍隊でのお正月を無事に、任地・小笠原にて迎えた。天気晴朗にして、気分すこぶる良し。6 時半、**宮城遥拝式**を行う。**お神酒**を祝い、分隊全員にて、**扇浦と大村の神社に初詣**した。いよいよ今年もまた今日から始まる。遅くも、今年中には帰還できるものと、思う心を占めて懸命にやろう。
- 2 日(土)：お天気悪く、大分寒かった。今日は我等は待機分隊で休みだが、出られず一日中舎内にいた。夕食後、手紙の返事を書いた。
- 3 日(日)：今日は我が分隊の外出日。全員揃って、**扇浦の川島氏宅において、分隊の新年会のようなもの**をやった。大分愉快になれた。少し飲み過ぎてしまい、帰ってすぐに寝た。
- 4 日(月)：今日は**勅諭奉読式**を日朝点呼同時に、営庭において行う。終わって今日も休養。今日は全員外出なしで、舎内にいた。午後は久しぶりに手紙を書いた。今年の手紙初めなり。夕食後、早く寝た。
- 5 日(火)：今日もまた休養。昨夜より降り出した雨は、とうとう今日一日中降っていた。待機分隊で外出はなし。雨のためか寒い陽気に一日中毛布の中で、退屈の一日を終わる。明日は演習か。
- 6 日(水)：今年の**仕事始め**。昨年の引き続きの作業で、**清瀬の弾薬庫の道路作業**。一日中道面直して、鑿をかついだ。午後 2 時に、早仕舞いして帰る。夕食後、入浴 2 番。連絡船も近く入港するらしい噂だ。
- 7 日(木)：お天気晴朗。午前 8 時、**兵器の検査**が営庭で行われた。それで午後は休養。明日の演習の予行は、午後行われるはずであったが、取りやめになったので、今日一日中休みとなった。**明日は陸軍記念日**で、早朝より演習がある予定。
- 8 日(金)：大東亜戦下、第 2 回目の**陸軍始め**。今年は観兵式をやめにして、**諸兵連合演習**を行う。午前 4 時、起床。5 時より行動を起こし、**愛染峠**に至り、それにて敵を迎え、後退しつ、**北袋沢**に至る。時に 8 時、小雨降りしきるうちに、壮烈なる白兵戦となり、連合演習も終わる。**久保寺隊長及び、司令閣下の講評**あり。10 時、帰隊。武器被服の手入れ後、休養す。今朝、**芝園丸入港**して、便り来る。
- 9 日(土)：夜来の雨も名残なく晴れ。今日もまた好天気。しかしながら西風強く、波浪高く、**連絡船・巽丸**に作業人員が乗り切れず、今朝は 2 回に運んだ。一日中冷たい風が吹き、ほんとに寒かった。夕食後、**第一、二分隊は、扇浦の学校に活動を見**に行った。夜に入ってお天気悪く、時々小雨が降った。
- 10 日(日)：朝より雨が降っていて、大変に寒かった。待機分隊で外出なし。一日中床の中で本を読んでいた。午後、お天気が直ってから、洗濯をしたが、とうとう夕方までに乾かなかった。
- 11 日(月)：今日は**蔵開き**だ。朝のうち小雨。作業に行くのが 1 時間ばかり遅れた。一日中ぐずぐずしたお天気であったが、割合に暖かな日。西風強く、港内波浪高し。作業は清瀬弾薬庫の道路。大分できてきた。
- 12 日(火)：昨夜小包を梱包して、今朝郵便局に差し出した。慰問品のおもちゃを家の子に送ったのだ。今日もまた小雨で、お天気悪く、朝がまた 30 分ばかり遅れた。夕食後、手紙を書いた。
- 13 日(水)：今日もまた一日中ぐずぐずついていて、中々寒いお天気であった。西風強く、かなり高い波が立っていた。一日中コンクリートをやっていた。昨日と今日、石川さんが休んだ。明日は衛兵の予定なり。
- 14 日(木)：今年初めての衛兵勤務。日中はお天気悪く、ずいぶん寒い日であったが、夜が割合に暖かなので、ほんとに助かる。清瀬弾薬庫の作業も、今日であらかたになったとのことだ。
- 15 日(金)：衛兵の眠い一夜も無事に明けて、異状なく申し送って帰る。午前中は例によって休み。午後は炊事の薪割り使役に行く。夕方、急にお天気が悪くなったが、良いあんばいに降らずにいた。幾分風邪気味なので、点呼後すぐに寝た。衛兵明けなので、今晚はよく寝られるだろう。
- 16 日(土)：一日中好天気。衛兵に行って、2 日作業に出なかったら、道路作業は終わっていた。今日は**弾薬庫の山の高い樹を伐**った。朝、**大村の参考館**で隊長殿より、ずいぶんいろいろと長い間、話しがあった。夕食後、洗濯をした。
- 17 日(日)：待ちに待った日曜も、朝のうちから雨だった。後になってやんだが、冷たい風が吹いてほんとに寒かった。珍しく外出して、**酒保でお酒**を少し飲む。1 時の舟で帰り、凶面を引く。

- 18 日(月) : 西風強く、お天気晴朗なれども、かなりの寒さであった。作業もまた清瀬弾薬庫の裏山で、防火道路作業。帰りは久しぶりに自動車で帰る。風のために、波が高いためだ。夕食後、2 番入浴。夜もかなり寒かった。
- 19 日(火) : 風もやみ、港内の波もおさまった。連絡船も静かだ。今日もまた一日中、清瀬弾薬庫の防火作業。今日も大部分は終わる。作業終了後、器具を持って帰る。戦友達集まり、お茶を飲みながら、楽しい談話に時を過ごす。
- 20 日(水) : 清瀬の作業も昨日で終わる。今日から小曲と扇浦間の道路修復作業。地方人も 20 人ほど援助に来た。それから海軍の自動車も 2 台来て、砂利運搬してくれた。陸・海・民と三体の作業だ。
- 21 日(木) : 今日もまた小曲・扇浦間の補修作業。地方人と海軍の自動車はまた来て援助した。三分隊は昨日の続き作業で、今日で終わったが全線はまだまだ大変だ。
- 22 日(金) : お天気良く、割合に暖かな日。作業は相変わらず道路構築。今日は東京府の自動車も援助に来た。大分出来上がってきた。期日も明日 1 日の予定だ。夕食後、俸給をいただく。
- 23 日(土) : 扇浦・小曲間の道路作業も今日で第 4 回目になった。朝のうち、小雨あり。次第に良くなり、のちにはまったく晴れたが、道面が悪くなったので、ほんとに作業がやりにくかった。今日中で出来上がる予定のはずであったが、とうとう出来上がらず、定時間 4 時で仕舞って帰る。朝 6 時半より夕方 4 時までではほんとに疲れる。
- 24 日(日) : 朝より申し分のない好天気。内地の初秋のような感じがする陽気だ。朝のうち、洗濯。そのあと分隊全員にて、写真を撮る。一日中何することもなく終わる。
- 25 日(月) : 1 月もようやく終わり近くになる。ここ 2、3 日は大分暖かだ。作業はまた扇浦・小曲間の道路修理。今日からは海軍の自動車が出来ないので、兵隊の肩が砂利の運搬。道のりが大分長いので、ずいぶん骨が折れた。入浴 1 番。
- 26 日(火) : 今日小曲・扇浦間の道路補修作業も終わりになるので、朝より側溝の掃除をやって一日終わる。夕方、幾分早仕舞いで、全線できあがった。明日よりはまた大村に行く予定なり。
- 27 日(水) : 良く晴れて気持ちの良いお天気。いよいよ今日から清瀬・宮の浜間の道路新設作業をやる。午前 8 時、現場着。隊長殿のお話がある。9 時、作業にかかる。俺は一日中、器具入れ箱を作る。作業始めのこととて、幾分早く仕舞ったが、船に乗るのが遅くなったので、帰りはいつもと同じだった。
- 28 日(木) : 今日もまた宮の浜に通ずる道路作業に行く。全線 850M 位とか、今日一日であらまし経始が終わる。俺は、1 人で器具箱作りで終わる。思いがけなく、手紙をいただく。
- 29 日(金) : お天気良く、大分暖かであった。相変わらず清瀬に道路作業。今日からいよいよ道路も本格的になった。一日中、立木を掘り出していた。夕食後、入浴。お天気続きで、大分疲れる。
- 30 日(土) : 今月最後の作業日。また清瀬に道路作業。骨の折れる土工作业とて、ほんとくたびれる。お昼ご飯を済ませてから、急にお天気が悪くなり、とうとう雨が降り出して来た。とうとう作業にならず、定時の 3 時まで休んでいてから帰ってきた。帰りは良いあんばいに降られずに帰って来た。入浴後、洗濯。点呼は 1 時間早く、6 時半だった。
- 31 日(日) : 日曜日のこととて、起床が 1 時間延びた。一日中西風強く、二見港もずいぶん大変な波であった。外出部隊で、大村に外出。往復とも陸路に行く。11 時帰る。入浴後、舎内にてゆっくりと休む。風は一日中吹いていた。1 月も今日で終わる。

## 昭和18年2月

- 1日(月): いよいよ2月に入る。月遅れの元日か。先週の連続作業。宮の浜に通ずる道路作り。一日中、**松の大木の根堀**をやる。西風強く、湾内波高く、連絡船出ず。自動車の具合悪く、ために大村までほとんど歩きだった。帰りは自動車に乗れたが、ずいぶん満員だった。
- 2日(火): 今日もまた大村に道路作業。前日の続き。波高きために、またまた陸路を行軍した。**隊長が作ったとかの新軍歌**を、今日は往復歌ったためにのどが痛む。夕食後、入浴2番。相変わらずものすごい混雑だった。
- 3日(水): 一日曇りがちな、薄ら寒いお天気であった。終日、道路作業。今日は**植杭作業**で、一日終わる。朝が早いのと、休憩時間が少ないので、かなり疲れる。帰りはまたかなりの波であった。夕食後、入浴1番。
- 4日(木): 節分、夕食の時、珍しく**小豆のご馳走**があった。今日は朝のうち雨であったが、のちにやんだので、幾分遅くなったが、作業に出かけた。俺は珍しく木工使役。休養室で、事務所の箱作りをやった。
- 5日(金): どんよりとしたお天気も、10時頃より、とうとう雨が降り出した。清瀬に作業に行った中隊の兵隊も、ずいぶん困ったとのこと。俺は今日も木工使役で隊にいた。思いがけなく書簡をいただく。うちからも来た。
- 6日(土): 今日も大体一日中ぐずぐずしていたお天気だったが、少しの間お日様が出た。またまた営内木工に出た。思いがけなく家から小包がきた。待っていた時計も来て、ほんとに嬉しい。木工使役も終わる。分隊は道路作業。
- 7日(日): 朝よりお天気悪く、雨が降っていた。小包の返事を書く。外出ができない日曜なので、一日中舎内で**煙草入れを作った**。
- 8日(月): あまりに良いお天気ではなかったが、どうやら一日中作業に差し支えないお天気であった。相変わらず宮の浜に通ずる道路作業。一日一日と立派になってくる。西風強く、湾内はかなりの波があった。それでも往復とも、連絡船が出たので、ほんとに助かった。
- 9日(火): 珍しく暖かい良いお天気。内地の5月頃のお天気であった。作業はまた道路構築作業。陽気のせいか、ずいぶん疲れる。夕食後、入浴1番。
- 10日(水): 今日もまた非常に暖かいお天気。作業は相変わらず宮の浜に通ずる道路。大分できてきたが、土工作业は体にこたえて大変にくたびれる。夕食後、入浴3番。
- 11日(木): **紀元の佳節**。9時、**遥拝式**あり。外出分隊であったが、外出をしなかった。お天気良く、大分暖かであった。
- 12日(金): 相変わらず宮の浜の道路作業に出た。一日中かなり良いお天気。昨日一日の休養で、今日は作業がすこぶる元気だ。夜に入って、お天気悪く、小雨が降り出した。
- 13日(土): 珍しく朝より雨。作業は中止になって、一日休みになった。朝のうち、事務室で**兵長以上に、隊長殿の学課**があった。**来週の週番下士勤務**、定時中申し受けて服務した。今日も一日無事に終わる。
- 14日(日): お天気の良い、申し分のない日曜日。週番のために、外出もできず、一日中事務室にいた。隊長も午後は外出されたので、事務室も大分のんびりできた。今日1日も、また無事に終わる。
- 15日(月): 相変わらずよいお天気だった。全員作業に行く。**第三小隊も清瀬に道路作業**だった。俺は週番で、作業は行かずだった。夕方よりお天気具合悪くなり、8時頃にはぽつりぽつりと雨が降って来た。巡察を終えて寝たのが9時。
- 16日(火): 昨夜より降り出した雨は、今朝もまだやまず、風さえまじえて盛りに降っていた。作業はなし。午前、**月例身体検査**があった。午後は雨も上がり、大分良いお天気になったが、風は相変わらず吹いていた。全員1時より道路補修作業に出た。明朝早く、**隊長殿母島に出張**になるので、何かとその準備に忙しかった。
- 17日(水): 曇天にて一日終わる。**隊長殿は、早朝母島に行くべく隊を出た**。作業人員は**定時(6時半)出発**した。第三小隊は清瀬の道路構築なり。夕方小雨が降って来たが、大したことはなかった。夜は曇っていたが、とても静かな晩であった。巡察を終えて、床に入ったのが9時だった。
- 18日(木): お天気悪く、雨を心配させるような嫌なお天気であった。作業人員は、前日の作業続行。隊内も隊長がいないと、ほんとに静かだ。午前10時頃、**スクール気味の豪雨**あり。午後は珍しいほど、よく晴れた暖かいお天気になった。

- 19 日(金)：ものすごく暖かいお天気。上衣を脱してちょうど良いくらいだった。作業人員は相変わらず、それぞれの作業に出発した。週番勤務もあます所あと 1 日だ。本日、**母島より営口丸**が帰って来た。隊長はまだ帰らない。夜に入って、少しばかり雲が出たが、雨にはなりそうもなかった。
- 20 日(土)：長かった**週番勤務も無事に明け**、次週番に異状なく申し送ってほっとした。作業隊は相変わらず道路と防空構だ。お天気はあまり良くなく、薄曇りであったが割合に暖かな日であった。母島出張中の隊長殿も、午後 3 時、帰隊された。明日の日曜日は、**地方に感冒が流行**しているの、取りやめになった。
- 21 日(日)：全員外出なしで、舎内に待機。午前中はどんよりとしていたが、午後は素晴らしいお天気になった。お昼前に洗濯。午後は**扇浦に軍歌演習**に行く。薄ら寒いお天気に、一日終わる。帰還のデマも、今日この頃ではあまりに言われなくなった。昨日、**經理の高杉軍曹が、初の帰還者**として帰る。
- 22 日(月)：お天気良く、大分暖かい一日。週番勤務で、一週間演習に出なかったの、今日は久しぶりの作業だ。一日中、土工作业。宮の浜に通ずる道路も、大分できてきた。幾分風邪気味なので、入浴を取りやめにした。
- 23 日(火)：今日もまた道路作業。お天気良く、日中はかなり暖かい日であった。午後は土工をやったが、午前は爆破をやった。岩盤なので、中々大変だ。入浴 2 番。(慰問袋 1 個)
- 24 日(水)：強い西風が終日吹いていて、割合に寒い日。今日も一日中宮の浜に通ずる道路作業。我が分隊の作業区間は、岩盤が出てほんとに大変だ。舟での帰りは、大きな波で大変だった。
- 25 日(木)：今月も終わり少なくなる。薄曇りの寒い日。終日、道路作業だ。昨日ほどではないが、今日もかなりの西風が吹いていた。往復ともに、**連絡船・巽**だった。夕食後、入浴 3 番だった。
- 26 日(金)：今日もまた寒い西風が、一日中吹いていて、誠に寒い日であった。作業は相変わらず道路構築だった。お昼のとき、大量に爆破をした。夕食後、入浴 2 番。
- 27 日(土)：今日は道路作業をよして、**隊長以下全員で、つつじ山に行軍**した。初めての場所で、かなり遠い所であった。疲れて帰り、昼食。あとは舎内外の掃除をした。
- 28 日(日)：今月もいよいよ終わりになった。今月最後の日曜日。**感冒流行で、相変わらず外出はなし**。魚釣りが許可になったので、**四小隊の兵隊**と小港に魚釣りに行った。あまり釣れなかったが、それでも大分面白かった。

## 昭和 18 年 3 月

- 1 日(月)：ようやく 3 月に入る。お天気良く、大分暖かであったが、風が割合に冷たかった。今日もまた宮の浜の道路作業。俺は腰が痛むので、午後は作業をしないで休む。珍しく**蒲田の飯島より手紙**が来た。
- 2 日(火)：朝のうちお天気が悪く、一時は作業中止の命令があったが、また作業に行くようになった。相変わらず道路構築作業。腰が痛むので、午前中は休む。午後は無理をして作業をした。西風強く、割合に寒い。今年は去年より寒いような気がする。
- 3 日(水)：今日は**上巳の節句**。お天気が良く、割合に暖かであった。道路作業も三分隊のところは岩盤なのでほんとに大変だ。午前中、腰の痛いのを無理してやったので、午後はどうとう休ませてもらった。夕食も入らず、早めに寝た。
- 4 日(木)：朝のうちお天気が悪かったが、のちほどには大分良いお天気になったが、風が冷たかったのにはほんとに困った。待ちに待った**慰問団の演芸を、今日扇浦の学校に見物**に行く。大変面白く愉快であった。午前中に終わって、午後は休養だった。家に送る小包を作る。
- 5 日(金)：お天気は大分良かったが、風が強かずいぶん作業のやりにくい日であった。まだまだ腰が痛くて仕方がない。道路も段々出来てくる。夕食後、入浴 1 番。
- 6 日(土)：相変わらず道路作業に出る。腰の具合が大分良いので、今日一日仕事をした。あまりに良いお天気ではなく、時々曇ってきて寒かったが、割合に暖かであった。入浴 3 番。

- 7日(日): 好天気ですいぶん暖かであった。相変わらず腰が痛むので、今日は外出もしないで、舎内で休む。3月第1日曜も終わって、静かに夜の帳は下りていく。
- 8日(月): 今日は**大詔奉戴日**だ。6時20分集合して、**奉戴式**を行う。終わってすぐに作業に出発。相変わらず宮の浜に道路作業。風が強く、ほんとに仕事のやりにくい日であった。往復ともに船。夕食後、入浴1番。今日は腰があまり痛まず、楽だった。
- 9日(火): 朝、起床同時に事務室に呼ばれて、**学課の試験**があった。あまりに突然なので、ほんとに驚いた。(兵長6名) 煙草を止めるやめないとのことで、隊長より大分怒られて、試験は取りやめになった。朝よりお天気悪く、小雨が降り、風が強く作業にも行かれず、とうとう休みになった。**水不足で、入浴なし**だった。
- 10日(水): 第何十回目かの陸軍記念日。お天気良く、静かな日であった。しかし割合に寒かった。昨夕、**連絡船・巽が小港付近で遭難**して、兵隊が1名死亡したとのこと。その他4名、付近の小岩に難を逃れているのが、昨夜より嵐のために助けることが出来ず、父島中大騒ぎだ。ほんとに気の毒だ。早く助けてやりたいものだ。
- 11日(木): 巽丸で遭難した兵隊さんは、気の毒にも4名死亡したとのことだ。衷心よりお悔やみをしよう。(弔意) 宮の浜に作業に行く予定だったが、乗り物の都合で取りやめになり、**検閲の予行演習を扇浦の海岸**で午前中やった。午後は山へ薪取り。2回で終わって休みになった。明日、連合演習が行われるはずのところであったが、何の都合か取りやめになった。(総合演習)
- 12日(金): 歩・砲・工の総合演習も延期になり、今日は宮の浜に道路作業に行く。朝のうちは大分寒かったが、日中は風もなく大変に暖かな日であった。船がないので、往復とも自動車にて行く。入浴1番。
- 13日(土): 今日は全員演習日だ。相変わらず道路作業。大分道路らしくなったが、岩盤なので、中々に大変だ。お天気は大変に良かったが、風が強くて、ちと寒かった。帰還の噂しきりなり。今月も2週間終わる。
- 14日(日): 朝のうち曇っていたので、雨になるかと思われたが、外出者が出る頃は大分良いお天気になった。久しぶりに海釣りに行く。珍しく**大きなイカが取れた**のに驚いた。ちょうど、4貫匁近くあった。帰りにずいぶん重いので、大変疲れた。入浴もなくて残念だったが、仕方がない。疲れていたもので、今晚はよく寝られるだろう。
- 15日(月): 昨日魚釣りで疲れて、今日は作業がずいぶん辛かった。宮の浜の道路作業も大分出来てきた。器具が不足で仕事がほんとにやりにくい。午前中、**工兵の大島中佐殿が視察**に来られた。午後、久しぶりに隊長殿が来られた。明日は衛兵とのこと。今晚はよく寝ておきたいものだ。
- 16日(火): 曇り時々雨というような嫌に悪いお天気。久しぶりの衛兵勤務なり。午後、隊長殿も出かけてから、かなりの大雨が一時降ったが、間もなく上がり、またお天気になる。割合に暖かなお天気で勤務も楽であった。24時、**週番士官渡辺少尉殿が巡察**に来られた。明け方になって大分冷え込んできたが、もう大したことはない陽気になった。いよいよ夏来るの感\*\*深し。
- 17日(水): 底冷えのする陽気の間に夜もまったく明けて、定時勤務も明けて帰る。お天気良く、大分暖かであった。午後はまた使役だ。今日は洗顔所のゴミ掃除をした。割合に早く終わって、あと休む。入浴を終えて、点呼後すぐに床に入る。
- 18日(木): 応召入営以来満1ヵ年と6ヶ月。過ぎた日を思えば、ほんとに早いものだが、いつ帰るか分からない先のことを考える時、ほんとにがっかりする。作業は相変わらず宮の浜に道路構築だ。第2回目の作業区も間もなく終わりそうだ。珍しく縄をなう。
- 19日(金): ようやく寒さから抜けて、ここ毎日ずいぶん暖かい日が続く。作業は相変わらず宮の浜の道路作業。午後、**司令部の自動車**で道路に砂利を敷く。帰路は自動車に鉄条網と杭を積んで、皆より一足早く帰って来た。
- 20日(土): 今日もまた非常に暖かな日。一日中宮の浜の道路作業も、裸で汗だ。内地の6月の陽気か。今日もまた自動車で砂利を敷く。午後は隊に持ってくる薪を切り出して、自動車にて運搬した。他の分隊より早めに帰る。入浴と洗濯。
- 21日(日): 暁の夢を破って突然に**非常呼集のラッパが鳴った**。入隊以来初めてのことでとて慌てたが、どうやら好成绩に終わる。**軍歌演習**があって、非常呼集も終わる。朝食後、**月例身体検査**がありあとは日曜の休みになる。外出すればできるのであったが、外出せずにゆっくりと休む。

- 22 日(月)：よもや今朝はあるまいと思っていた**非常呼集の演習**が、また今朝起床時間と一緒に行われた。2 度のこととて今度はすこぶる良くできて、全般に好成績だった。朝食頃より雨が降り出していたので、作業にも行かれず、今日は**検閲の準備作業**で、舎内外のお掃除をした。終わったのが午後 3 時、見違えるほど綺麗になった。雨はやみ、曇った空はまだ降り足りないような顔をしていた。
- 23 日(火)：朝の様子では、今日もまた雨になるかと思われるような空模様であったが、日中はとても暖かい薄曇りのお天気となった。中 2 日おいて宮の浜に道路作業。分隊は今日も自動車による砂利の運搬。自分と**遠藤武雄君**とは側溝の直しで、一日中コンクリート屋をした。昨夜より**警戒警報に入ったが、状況は大分悪い**とのことだ。夕食後、入浴 2 番。今晚も大分蒸し暑い。
- 24 日(水)：雨雲が空いっぱい。雨を気にしながら宮の浜の道路構築作業に行く。船の中で、若干降られたが、あとは大分良いお天気になって、大分暖かであった。午後 1 時頃、**連絡船・芝園丸が入港**した。思いがけなくも、若干の兵隊が乗って来た。**工兵隊にも 15 名補充兵が来た**。郵便物は明日とのことだ。
- 25 日(木)：日朝点呼の際、隊長殿より長々色々な話をされたので、出発までの短い時間がいくらかなくなり、ずいぶん忙しかった。朝はなるべくやめにしてもらいたいものだ。一日中お天気悪く、時々小雨が降ったが、作業は相変わらず宮の浜の道路構築だ。蒸し暑く気持ちの悪い日。帰りは自動車で帰る。芝園丸が来ても、1 枚の手紙も来ないのには、ほんとにがっかりした。
- 26 日(金)：お天気良く、大分暖かであった。今日も相変わらず宮の浜に道路作業。午前中、自動車で砂利運搬。午後は砂利敷きをした。この間来た補充兵が、今日は三分隊に来て、一緒に砂利敷きをやった。夜に入り、風が出て大分寒くなった。
- 27 日(土)：起床前午前 5 時、突然となる**瓦斯警報**に、寝ぼけ目で営庭に飛び出す。約 30 分に渡り**瓦斯演習**があった。今日は**検閲準備**の営内外の掃除を一日やった。検査前とて、ずいぶん忙しい。早く終わってくればよいが。
- 28 日(日)：検閲前のこととて、今日の日曜日は休みなしで、一日中検閲準備をした。午前、**軍装検査**。午後は扇浦の海岸において、検閲当日行われる**作業の経始**をした。夕食後、水がないので、裏の川に洗濯に行く。
- 29 日(月)：検閲演習をやる予定のところ、雨のために取りやめになり、午前の雨やみを見て舎内外の掃除。午後は**内務検査**があった。時々かなりの雨が降ったので、営庭がとても悪くて、ほんとに困った。
- 30 日(火)：昨日の雨も名残なく晴れ上がり、今日はとても暖かいお天気であった。いよいよ今年度の検閲も明日に控えて、今日は朝から**軍装検査**があり、そのあと銃の検査が営庭であった。午後は扇浦の海岸で、明日の**予行演習**があり、隊長伝令ですっかり汗をかいた。夜は久しぶりに入浴、3 番。
- 31 日(水)：本年の**検閲**は種々準備して、今日朝 9 時、**軍装検査**によって始まる。**内務巡視と銃の手入れ方の学課**で、午前中終わる。午後は扇浦海岸において、上陸する敵に対する防衛戦闘の演習。自分は隊長伝令で、ずいぶん疲れた。好評は余りよくはなかった。疲れた体を入浴にて癒し、早く寝た。

## 昭和18年4月

- 1日(木):司令官閣下よりの検閲慰労休暇。お昼より外出はあったが、疲れているので舎内にてゆっくり休む。久しぶりに慰問袋をいただく。時節柄、あまり良いものはない。仕方がないことだ。ありがたくいただく。
- 2日(金):隊長殿の言葉では、今日は休みになると思っていたのが、急に作業に行くようになった。久しぶりに宮の浜に道路作業。珍しく徴用軍夫がたくさん手伝いに来た。俺のほうの分隊では、相変わらず自動車で砂利自敷きをした。今日は珍しくも、割合にたくさんの下給品があった。入浴はゆるいとのことで入らない。噂の4月に入って、またまた帰還のデマしきりなり。
- 3日(土):神武天皇祭でお休み。待機分隊のこととて、一日舎内にくすぶっていた。薄曇りで風が非常に冷たく、かなり寒い日であった。午後は暖かなり。用もなかったので、一日中ゆっくりと休む。
- 4日(日):2日続きのお休み。今日は日曜。外出はできたのだが、外出してもしょうがないので、舎内でゆっくりと休む。幾分風邪気味で頭が重い。寝るときに、薬を飲んで寝た。
- 5日(月):2日休んでまた今日から道路作業に出る。相変わらず宮の浜の道路だ。近く兵隊でも、帰還兵があるとのことで、大分作業も急いでいるらしい。水が不足で、入浴なし。暑くなったのに、ちと困る。
- 6日(火):大分暖かく、内地の6月くらいの陽気だ。相変わらず宮の浜に道路作業に行く。自動車を使用しての砂利敷きを一日中やっていた。帰りはありがたいことには、自動車で隊まで来た。思いがけなくも入浴ができて、ほんとに嬉しかった。昨日、突然書簡をいただく。家からも久しぶりに来た。子供達は丈夫に育っているとのことだが、きみ子が相変わらずなのにはほんとに困る。
- 7日(水):朝のうち薄曇りであって、雨になるかと思われるような空模様であったが、のち大変に良いお天気となり、大分暑くなってきた。作業は相変わらず宮の浜の道路。午前中だけ自動車が来て砂利運搬。午後は砂利敷きをした。お昼休みのときに、海に貝取りに行く。大分疲れたのにはほんとに困った。入浴3番。
- 8日(木):今日は花祭りだ。内地のお寺では、さぞや賑やかなことだろう。仕事は相変わらず宮の浜の道路構築。今日は自動車が来ないので、畚(もっこ)によって運搬。朝のうちお天気悪く、時々雨が降る。のち雨はやんで、蒸し暑い日になった。朝雨のために、今日の奉戴日の式は取りやめになった。
- 9日(金):一日中降ったりやんだりしていた、おかしなお天気だった。終日、自動車を使用しての宮の浜道路作業だった。午前中は洲崎へ砂利取りに入ったが、他の自動車に邪魔されて、とうとう何にもできなかった。午後は扇浦の海岸まで2回砂利を取りに来て、雨のために仕舞いになる。衛兵勤務が明日だ。今晚はよく寝ておこう。
- 10日(土):約30日ぶりでの衛兵勤務なり。本日、芝園丸入港の予定とて、兵隊は大騒ぎだ。定時、交代して勤務につく。11時、待望の芝園丸が入港。そして交代の兵隊もやって来た。隊へ来たのが15時過ぎだが、あまりにも交代員が少ないのには、皆もほんとにがっかりした。73名だけが元気にやってきた。突然、補充兵係を命ぜられ、勤務を交代して、6時連珠谷の兵舎に来た。教官・本井見習士官、助教は自分と長谷川・柴内両上等兵だとのこと。夜、不寝番で2時まで起きていた。体は相当に忙しかったが、今日は何もすることができなかった。
- 11日(日):慣れぬ兵舎に一夜を明かす。いよいよ今日から仕事。雨のために食事運搬がほんとに大変だった。日朝点呼の際に分隊割。自分は第一分隊長だ。一日中雨のために外出は何もできなかったが、色々な準備のためにかなり忙しく、夜も11時までかかった。夕方、中隊へ入室兵を送っていく。今度の兵隊には、八千代町より1人来た。同町内は懐かしい。ほかに今1人、俺を知っているのに驚いた。
- 12日(月):どうやら上がったらしい。お天気になった。蒸し暑い日。9時全員集合。大村の要塞神社に参拝した。行きは行軍にて大村に行き、帰りは船に乗って帰って来た。夜は相変わらず忙しく、10時半就寝。今日もまたお湯に入れなかった。
- 13日(火):時々雨の降る、嫌なお天気だった。午前、中隊へ行き身体検査をやる。午後は舎内外の清潔整頓をやり、久しぶりに入浴した。帰って補充兵学歴表作成で、大変に遅くなり、11時半就寝す。中隊では満期兵の命令が出て、大変な騒ぎだ。本夕、精勤\*をいただく。長谷川君の機嫌斜めなり。困ったものだ。

- 14日(水)：晴れ。**補充兵入隊**。初の作業。宮の浜に道路作業。昼食は使役8名にて、10時の軍船にて、俺が持っていく。帰りは5時。夕食後、兵舎内において、**娯楽会を開く**。かなり盛大で、人の多いのには驚く。9時頃より、雨が降り出す。
- 15日(木)：曇りのち雨。どんより曇って、今にも降りだすかと思われる空模様だった。雨を気にしながら、今日も補充兵を連れて宮の浜に作業。朝食は中隊でやった。午後になって、とうとう雨が降り出した。仕事にもならず、15時帰る。夕食、入浴を済ませて、明日の予定をつくる。明日は除隊式があるはず。
- 16日(金)：曇りのち晴れ。朝食はまた中隊へ行く。今朝6時より、**除隊式**があつて、式に参列した。8時、栄丸にて作業に行く。相変わらず宮の浜の道路。11時、にわか雨があつた。午後はまだ晴天となり、大分暑くなって来た。今日、乗船する予定の除隊兵はまた1日延びて、明日のこととなる。夕食後入浴。良く晴れて、気持ちの良いお天気となる。
- 17日(土)：晴れ。帰還兵が、今朝8時万歳の声に送られて、嬉しそうな顔をして元気に乗船した。時に9時、1年有半住み慣れたこの父島をあとに、なつかしの故国に帰る。気持ちはいかがばかりか。12時出発した。作業は相変わらず宮の浜道路構築。俺は今日、舎内監視で残る。一日休養して、いくらか疲れも抜けたらしい。**学校に映画見物に行く**。6名。
- 18日(日)：晴れ。連珠谷の仮兵舎をあとに、午前中に中隊に移動。ずいぶん忙しかったが、どうやら午前中に完了した。午後は隊長の命により、山へ補充兵全員**ワラビ取り**に行く。かなり暑く、あまり成績が良くなかった。補充兵は各小隊各格分隊に入る。
- 19日(月)：晴天。今日も全員作業であつたが、朝集合してから、あまりにもだらしないのに驚いた。我々補充係はあつても無くても良いようなものだ。一部、宮の浜道路。他の人員も各作業場へ分散した。帰ってから被服と兵器が渡された。点呼後、教官殿のところへ、補充兵教育について方針を聞きに行く。
- 20日(火)：雨。雨を気にしながら宮の浜に作業に行く。午前中も時々小雨が降っていたが、午後はどうとう本降りになってきたので、作業もできずに仕舞って帰る。降雨強く大部分は濡れてしまった。初年係、何かと用事多く、ここの所私用は全然できず、体は疲れるばかりなり。
- 21日(水)：曇り。6時、突然集合して(初年兵だけ)出発。ほんとに面食らってしまった。前に何の話も無く、こんなことをやられては、食も満身に食えないことになる。途中伝令動作をやりながら、行軍にて大村作業場に至る。きょうは一日作業士として作業した。夕食後、**酒保品として煙草10個渡さる**。
- 22日(木)：曇り。今日から**海軍防備隊に随道の扉を作る作業**に行く。自分は運搬班長にて行く。中々骨が折れた作業であつた。今日から補充兵も、一時的になくなった形だ。夜に入り雨となる。
- 23日(金)：今日もまた海軍防備隊に作業に行く。お天気良く、ずいぶん暑かった。もう夏だ。炎天での作業では、ちとやり切れない。今日、**出川君が山名中尉に殴られた**。状況上、ほんとに残念で仕方が無い。今日は**警戒警報**が出た。そして明日の靖国神社の臨時大祭には休みにならないことになった。ほんとにがっかりしたが、やむを得ない。
- 24日(土)：雨。**靖国神社の臨時大祭**を3度任地父島において迎えた。状況上、作業も休まず、雨の降る中を全員出かけた。自分らは相変わらず海軍防備隊に行く。道路作業の方が作業ができず、とうとう午前中で全員は作業を中止して中隊に帰る。夕食後、**一部進級者の発表**があつた。
- 25日(日)：雨。一日中雨の降っていたつまらない日曜。外出する予定ではいたが、やめにして一日舎内にいた。午前中は何かと用事もあつたが、午後はゆっくりと休む。午後一時日が出て、良いお天気になったが、また悪くなって、夕方より雨が降り始めた。夕食後、**初の演芸会が第三小隊において開かれた**。中々賑やかにやっていた。不寝番第1番。
- 26日(月)：晴れ。雨のうちは嫌な空模様であつたが、間もなく良いお天気になり、大分暑くなったの。相変わらず海軍防備隊へ作業。一日中、天幕張りをやっていた。珍しく午前中、隊長殿が来られた。明日は休みの予定なるも、海軍作業班はどうなることやら。
- 27日(火)：晴れ。悪い予想が的中して、今日はまた作業に、海軍防備隊に行く。中隊では休養で、外出があつた。ほんとに馬鹿馬鹿しいのに、嫌になる。一日中嫌な気分仕事ではあまり大したことはない。夕食後、**学校で焼夷弾の実験**があつたが、行かなかつた。
- 28日(水)：晴れ。運搬班を解散して、木工と鍛工とに出し、自分は今日から宮の浜道路作業に出た。久しぶりの道路作業だった。自分の隊の仕事が1番良いようだ。夕食後、**天長節の下給品**があり、俸給をいただく。

29 日(木) : 曇り。薄曇りの、割合に涼しい日。天長節の佳節を記念する新演習を、洲崎飛行場において行われた。9 時、司令官閣下来場の下に開始された。初めての演習にしては、割合に良くできた方と思っている。初年兵第三小隊第一分隊長として参加した。(落下傘兵に対する演習) 午後は武器被服の手入れで、休養した。

30 日(金) : 晴れ。靖国神社の例大祭当日で、遥拝式後、休養で外出。久しぶりに乳頭山の下に、同行 5 人で釣りに行く。どうしたのか少しも魚が釣れずほんとはがっかりした。初年兵の携帯\*\*、軍隊手帳、\*\*包を返納した。ほかに被服適合調査もした。

以下空白。